SONY

4-675-240-02 (1)

はじめに お読みください

取扱説明書

1 準備する

2 クリエの基本操作

3 インターネットに接続する

4 使ってみよう

静止画／動画を楽しむ

音声メモをとる

音楽を楽しむ

予定／アドレスを管理する

パソコンのデータを活用する

各部のなまえとはたらき

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-NX80V
PEG-NX73V

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」**をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機には以下のマニュアルが付属しています。
下記をご覧の上、それぞれ知りたい内容にあわせてご活用ください。

❑ 最初に知っておいていただきたいことを説明しています(本冊子)

はじめにお読みください(取扱説明書)

次の内容を説明しています。

- クリエ本体とパソコンの準備
- 本機の基本的な操作
- 付属アプリケーションでできること

必ず別冊の「安全のために」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

❑ クリエの基本操作を詳しく知りたいときは
❑ クリエの設定を変更したいときは

クリエ読本

はじめてのクリエ
基本的な使いかたを詳しく説明しています。
クリエ活用編
クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。

❑ 付属アプリケーションの使いかたを詳しく知りたいときは
❑ 使いたいアプリケーションのインストール方法を知りたいときは

クリエ アプリケーションマニュアル (HTML 形式:パソコン上で動作)

知りたい内容を、アプリケーション名と目的の両方から探すことができます。
このマニュアルはパソコンと連携して使うための準備を行うと、パソコンに自動的にインストールされます。
このマニュアルの使いかたは、本冊子の「クリエ アプリケーションマニュアルを開く」(70 ページ)をご覧ください。

❑ 困ったときの対処法は

困ったときは Q&A

本機を使っていて困ったときの対処の方法を説明しています。

目次

準備する

クリエの基本操作

インターネットに接続する

使ってみよう

各部のなまえとはたらき

取扱説明書についてのご注意

- この冊子は、PEG-NX80V および PEG-NX73V の 2 機種について説明しています。
  －本体のイラストは、特に断りがない限り、PEG-NX80V を使用しています。
  －PEG-NX80V と PEG-NX73V で異なる点については、各説明個所で明記しています。
- 付属のソフトウェアは、この冊子の画面と一部異なる場合があります。
- この冊子は、お客様が Windows の基本操作に習熟していることを前提にしています。
  パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

液晶ディスプレイおよびレンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
液晶ディスプレイやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

ためし撮影／録音

静止画／動画／音声メモの撮影や録音をする場合、必ず事前にためし撮影／録音をして、クリエ本体または記録メディアに正常に記録されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

本機を使用中、不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合がありますのでご注意ください。

準備する

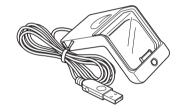
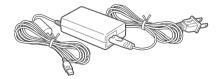
この章では、お買い上げ後の中身の確認から、充電や初期設定のしかた、パソコンと連携するための準備について説明します。

箱の中身を確認する

まずはじめに、箱の中身を確認しましょう。

●本体（1 台）

イラストは PEG-NX80V

●クレードル（1 台）

●AC パワーアダプター（1 式：AC コード含む）

●ヘッドホン（1 式）

●スタイラス（1 本）

お買い上げ時は本体に取り付けてあります。

●オーディオリモコン（1 式）

次のページにつづく

●プラグアダプター(1 個)

●インストール CD-ROM(1 枚)

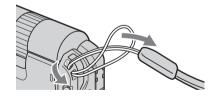
●ハンドストラップ(1 個)

取り付けかたは下記をご覧ください。

●はじめにお読みください ー 取扱説明書(1 冊、この冊子)
●安全のために(1 枚)
●クリエ読本(1 冊)
●困ったときは Q&A(1 冊)
●カスタマー登録のご案内(1 枚)
●カスタマー登録はがき(保証書)
●Graffiti カード(1 枚)
●ソフトウェア使用許諾書(1 枚)
●クリエ サービス・サポートのご案内(1 枚)
●クリエカルテ(1 部)
●その他印刷物一式

万が一、不足しているものがありましたら、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)またはお買い上げ店にご相談ください。

落下防止のため、ハンドストラップを使用しましょう。

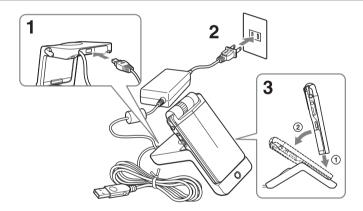
ハンドストラップの取り付けかた

クリエを準備する

クリエを使用する前に、次の準備を行います。

❶ **クリエを充電する**

❷ **電源を入れて初期設定を行う**

❶ クリエを充電する

本機をはじめて使うときは、必ず充電してください。

1 AC パワーアダプターをクレードルの AC パワーアダプター接続コネクタにつなぐ。

2 AC パワーアダプターのプラグをコンセントに差し込む。

3 本機を斜めに入れて倒すようにして、クレードルに取り付ける。

本機をクレードルに取り付けると、本体の POWER LED が点灯して、充電が始まります。

初回の充電は約 4 時間で終了します。
充電が終わると、本体の POWER LED が消灯します。

ヒント

毎日こまめに充電すれば、充電は短時間で終了します。

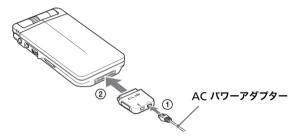
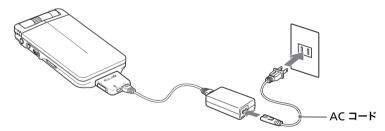
次のページにつづく

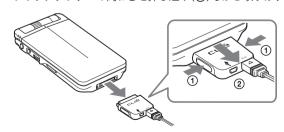
充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。

クレードルを使わずに充電するには

プラグアダプターを使用すると、クレードルを使わずに本機を充電することができます。

プラグアダプターを取り付ける

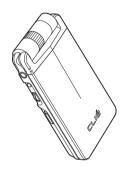
はじめに AC パワーアダプターをプラグアダプターの DC IN コネクタにつなぎ(①)、次にプラグアダプターを本機のインターフェースコネクタへつないでください(②)。

次に AC コードを AC パワーアダプターにつなぎ、AC コードのプラグをコンセントにつないでください。

プラグアダプターの取りはずしかた

プラグアダプターの両わきを押し込み(①)ながら取りはずします(②)。

❷ 電源を入れて初期設定を行う

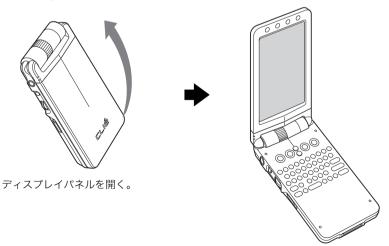
クリエの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、クリエの操作に慣れていきましょう。

本機のスタイルについて

本機は 3 種類の「スタイル」にすることができます。

クローズスタイル

ディスプレイパネルを閉じたスタイル。
持ち運ぶときに画面を傷などから保護できます。

オープンスタイル

ハードウェアキーボードを使ってたくさんの文字入力を行いたいときなどに使用するスタイル。

ディスプレイパネルを開く。

ご注意

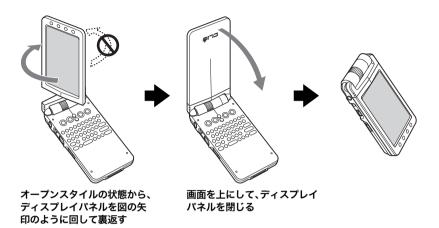
一部の CF カードを挿入しているときは、開く角度が制限されます。

次のページにつづく

ターンスタイル

オープンスタイルよりもコンパクトになるので、主にスタイラスを使って操作したり、カメラとして使うときなどに便利なスタイル。

オープンスタイルの状態から、ディスプレイパネルを図の矢印のように回して裏返す

画面を上にして、ディスプレイパネルを閉じる

ご注意

ディスプレイパネルを、指示された方向以外に回したり、強い力を加えたりしないでください。

ディスプレイパネルを閉じるとき

ディスプレイパネルを図の矢印のように回して、閉じてください。

1 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

POWER/HOLD スイッチを
スライドさせる

ヒント

電源が入らない場合は

- 7 ページの手順に従ってクリエを充電しましたか？
  ➡**詳しくは、**別冊「困ったときは Q&A」をご覧ください。

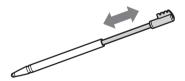
- 充電しても電源が入らないときは、ソフトリセット（32 ページ）を行ってください。

2 スタイラスを取り出す。

文字を入力したり、実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属の**スタイラス**を使います。

スタイラスを
取り出す

ヒント

スタイラスは、右図のように伸ばして使うこともできます。

ご注意

- 付属のスタイラス以外のものを使うと、クリエの画面を傷つけてしまうことがあります。
- スタイラスを取り付けるときは、カチッというまでしっかり差し込んでください。

次のページにつづく

3 スタイラスで画面を軽く押す。

この操作を**タップする**と言います。
タップした場所のずれを補正するための、「初期設定」画面が表示されます。

初期設定

次の画面で、図のように×印の中心を
タップします。この操作により
タップ位置の照準を合わせます。

スタイラスで画面のどこかをタップ
して、次の画面に進んでください。

4 画面の指示に従って、表示されたマークの中心を正確にタップする。

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：入力位置を調整する（デジタイザ調整）」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

5 ［現在の時刻］の枠で囲まれている部分をタップする。

「時刻の設定」画面が表示されます。

ヒント

あとで再び日付や時刻を変更したい場合は「環境設定」から設定します。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

6 ▲または▼をタップして、現在の時刻に合わせる。

それぞれの枠をタップして、時間と分表示を合わせます。

7 [OK]をタップする。

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

8 [今日の日付]の枠で囲まれている部分をタップする。

「日付の設定」画面が表示されます。

9 一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。

10 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

11 [タイム ゾーン]の枠で囲まれている部分をタップする。

「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

12 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK]をタップする。

13 [夏時間]の横の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

14 [次へ]をタップする。

15 [次へ]をタップして、[終了]をタップする。

データの入力
本体では 以下の方法でデータを入力することができます。
1. Graffiti 文字を手書き入力
2. パソコンから、HotSync 機能を実行して、本体に転送
3. その他の方法（機種により異なる）
詳細についてはマニュアルを参照してください。
[終了] をタップして、初期設定画面を終了します。
戻る
終了

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

これで初期設定が終わりました。

パソコンと一緒に使えるようにする

クリエとパソコンを連携して使うと、以下のようなことができます。

- 予定表やアドレスなど、最新のデータをクリエとパソコンで共有する
- クリエのデータのバックアップコピーをパソコンに保存する
- パソコンで管理している画像や音楽をクリエで持ち出す
- 付属アプリケーションの詳しい使いかたを、パソコンの「クリエ アプリケーションマニュアル」で見る

クリエをパソコンと連携して使う前に、次の準備を行います。

❶ ソフトウェアをパソコンにインストールする

❷ 画面に従ってカスタマー登録をする

❸ クレードルとパソコンをつなげる

❹ クリエにユーザー名を設定する

❶ ソフトウェアをパソコンにインストールする

インストールする前に付属のクレードルをパソコンにつながないでください。正しくインストールできない場合があります。

お使いのパソコンに、付属のインストール CD-ROM に入っている「CLIE Palm Desktop」というソフトウェアをインストールします。クリエとパソコンでデータをやり取りしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するためのソフトウェアです。

➡**パソコンに必要なシステム構成について詳しくは、**「パソコンに必要なシステム構成」（100 ページ）をご覧ください。

ご注意

- パソコンで付属のインストール CD-ROM の内容を開いて、「Palm Desktop」フォルダをパソコンにコピーしないでください。必ずこの冊子の手順に従って、インストールしてください。

- Windows 2000 Professional または Windows XP をお使いの場合、コンピュータの管理者(Administrator)権限のユーザー(アカウント)でログオンしてからインストールを行ってください。
  この際のユーザー(アカウント)名は、半角英数字をご使用ください。

- すでに別のクリエをお使いの場合、**すでにお使いの CLIE Palm Desktop ソフトウェアを削除(アンインストール)せずに**以下の手順で新しい CLIE Palm Desktop ソフトウェアを上書きしてください。
  * 一部の機種によっては、対応方法が異なります。お使いの機種の対応方法については、裏表紙に記載のネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。

  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

1 パソコンで起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。

しばらくすると、パソコンに「インストール CD-ROM」画面が表示されます。

3 [次へ]または[クリエ基本ソフトウェア]をクリックしたあと、CLIE Palm Desktop の[インストール]ボタンをクリックする。

「InstallShield ウィザード」が起動します。

4 [次へ]をクリックする。

「セットアップ タイプ」画面が表示されます。

5 セットアップタイプを選んで、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウントの作成」画面が表示されます。
以下に、セットアップタイプで[すべて]を選んだ場合について説明します。

次のページにつづく

6 ユーザー名を入力して、[次へ]をクリックする。

ユーザー名とは、クリエの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。

ご注意

すでに別のクリエをお使いの場合は

別のクリエで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

ヒント

他のクリエのデータを引き継ぐ場合は

別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

7 「プログラムを変更する準備ができました」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが始まります。
インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードを完了しました」の画面と「CLIE <クリエ> オンラインカスタマー登録のご案内」画面が表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでパソコンへの CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが終わりました。

ヒント

インストールの途中で操作ができなくなったら

パソコンの[Alt]キーを押しながら[tab]キーを、何度か押してみてください。
インストールの操作中にパソコンの画面上の「インストール CD-ROM」画面などをクリックすると、インストール操作の画面が「インストール CD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、インストール操作の画面を再び前面に出すことができます。

❷ 画面に従って
カスタマー登録をする

画面の指示に従って、カスタマー登録を行います。
カスタマー登録が終了したら、「CLIE ＜クリエ＞ オンラインカスタマー登録」画面を閉じると、「HotSync の動作確認」画面が表示されます。

ご注意

オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。

ヒント

あとでカスタマー登録をするときは

ブラウザ画面右上の をクリックしてカスタマー登録画面を閉じてください。

カスタマー登録とは

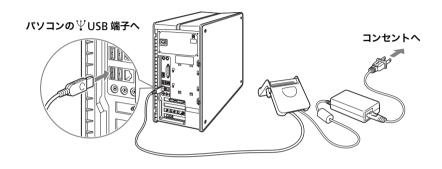
ソニーへクリエの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、最新のプログラムのダウンロードなど、登録カスタマー専用の各種サービスが受けられます。サービスの内容について詳しくは、クリエのホームページ（http://www.sony.jp/CLIE/）をご覧ください。
修理や使いかたのお問い合わせなど、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）をご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号（16 桁）」、「カスタマーID（13 桁）」のいずれかが必要になります。
また、クリエに付属の保証書での保証期間はお買い上げ日から 3 か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が 1 年間となります。保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（95 ページ）をご覧ください。

カスタマー登録は以下の方法でもできます

- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- 「インターネットに接続する」（35 ページ）の操作手順でインターネットに接続したあとに、あらためてクリエでオンラインカスタマー登録を行う
- デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックしてから、［プログラム］（Windows XP の場合は［すべてのプログラム］）－［Sony CLIE］－［PEG-NX80V_PEG-NX73V について］－［クリエ カスタマー登録］の順にクリックする

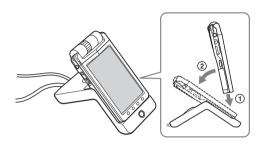
❸ クレードルとパソコンをつなげる

カスタマー登録が終了したら、パソコンの USB 端子にクレードルの USB コネクタを接続し、HotSync の動作確認をして、クリエをパソコンと連携して使えるようにします。

クレードルをパソコンに接続する

ご注意

クレードルは、必ずパソコン本体の USB 端子へ接続してください。USB ハブなどを利用した場合、正常に HotSync が行われない場合があります。

❹ クリエにユーザー名を設定する

1 クリエをクレードルに取り付ける。

2 クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync ボタンを押す

3 パソコンの「ユーザの選択」画面に、手順 ❶ の 6 で入力したユーザー名が表示されたら、[OK]をクリックする。

クリエから「ピロリ♪」と音がして、クリエとパソコンがデータをやり取り（HotSync）します。

このとき、CLIE Palm Desktop ソフトウェアの「InstallShield ウィザード」で設定したユーザーアカウント名がクリエにも登録されます。

クリエの画面に「HotSync 機能が終了しました」と表示されると、設定完了です。

4 HotSync の動作確認が終了したら、画面左下の[終了]をクリックする。

これで準備は完了です！

パソコンとファイル／データを同期する(HotSync)

ホットシンク

HotSyncとは？

クリエとパソコンのファイル／データをやり取りし、双方のファイル／データを最新の状態にしたり、ファイル／データのバックアップを取る、アプリケーションのインストールをするといった操作をHotSyncと呼びます。

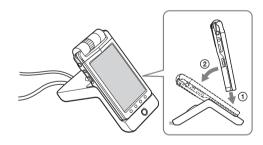
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「パソコンとクリエを同期させる」をご覧ください。

HotSyncする

パソコンとクリエを連携させて、入力した予定表をパソコンで読んでみましょう。

1 パソコンを起動する。

2 「予定表を記入する（予定表）」（62 ページ）の手順を参考にして、「予定表」に新しいスケジュールを入力する。

3 クリエをクレードルに取り付ける。

4 クレードルの HotSync ボタンを押す。

クリエとパソコンで HotSync を行います。

HotSync ボタンを押す

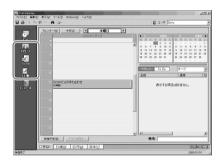
HotSync が終了するとクリエに次の画面が表示されます。

次のページにつづく

5 パソコンのデスクトップ画面で、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

またはデスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから[プログラム](Windows XP の場合は[すべてのプログラム])－[Sony CLIE]－[CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動し、予定表が表示されます。手順 2 で入力した日を表示させると入力した予定が表示されます。

その他の情報画面(アドレス、ToDo、メモ帳)に切り換えるには

画面左にあるそれぞれのアイコンをクリックしてください。

バックアップのおすすめ

万一、クリエを初期状態に戻す (ハードリセットする) 必要のあるトラブルが起きたときでも、常に HotSync でバックアップしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

* 一部バックアップできない記録内容があります。

➡**バックアップについて詳しくは、**「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」(87 ページ) をご覧ください。

クリエの基本操作

この章では、アプリケーションの起動のしかたや文字の入力方法、再起動の方法について説明します。

アプリケーションを起動する

本機で何か操作をするためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。
アプリケーションを起動する基本操作を覚えましょう。

❶ ホーム画面を表示する
❷ アプリケーションを選ぶ
❸ アプリケーションを終了する

以下に、ホーム画面「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」からジョグダイヤルを使ったアプリケーションの起動のしかたを説明します。

ジョグダイヤルと BACK ボタンを使う

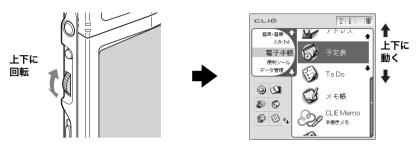
❶ホーム画面を表示する

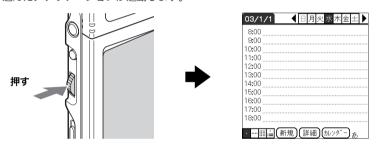
1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

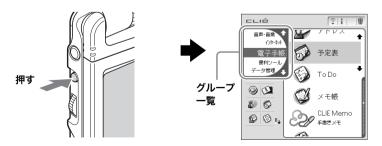
次のページにつづく

❷アプリケーションを選ぶ

1 ジョグダイヤルを回して、起動したいアプリケーションのアイコンを選ぶ。

2 ジョグダイヤルを押す。

選んだアプリケーションが起動します。

ヒント

グループごとに選びたいときは

ホーム画面でBACKボタンを押すと、グループ一覧が反転します。
ジョグダイヤルを回してグループを選んでから、アプリケーションを選ぶことができます。

❸アプリケーションを終了する

クリエではパソコンでの操作と異なり、データの保存を行う必要はありません。
作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションを再度起動すると、終了時と同じ内容が表示されます。
アプリケーションを作業中に別のアプリケーションに切り換えるには、ホーム画面を表示します。ホーム画面を表示するには、以下の 2 つの方法があります。お好みの方法をお使いください。

ホーム アイコンをタップして、ホーム画面に戻る

BACK ボタンを長く押して、ホーム画面に戻る

ヒント

アプリケーションボタンを押して別のアプリケーションに切り換えることもできます (28 ページ)。

ご注意

一部のアプリケーションでは、「保存」の操作があります。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

その他の起動方法について

本機では、付属のスタイラスやアプリケーションボタンを使ってアプリケーションを起動することもできます。

スタイラスを使う

付属のスタイラスで画面を直接触れて起動します。

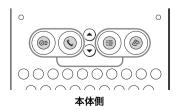
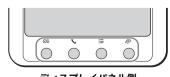
1 ホーム画面の ⬆⬇ をタップして、起動したいアプリケーションを表示させる。

2 アプリケーションのアイコンをタップする。

選んだアプリケーションが起動します。

アプリケーションボタンを押す

アプリケーションボタンを押してアプリケーションを起動することもできます。
お買い上げ時の状態では、ボタンのアイコンに合わせて、「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」が起動します。

本体側

ディスプレイパネル側

ご注意

ディスプレイパネル側のアプリケーションボタンは、ターンスタイル（10 ページ）のときのみ有効です。

ヒント

- 本機の電源が入っていなくても、アプリケーションボタンを押すと本機の電源が入り、アプリケーションが起動します。
- アプリケーションボタンに好みのアプリケーションを割り当てることもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：アプリケーションボタンの割り当てを変更する」をご覧ください。

文字の入力方法について

本機では、以下の方法で文字を入力できます。お好みに合わせて、ご自分にあった方法をお選びください。

日本語の入力や漢字変換について詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

● ハードウェアキーボード（109 ページ）

パソコンのキーボードと同様の操作で文字を入力します。大量の文字を入力するときに便利です。

● 手書き入力システム

以下の 2 種類の方法があります。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

デクマ手書き入力（Decuma Japanese）

（デクマ、ジャパニーズ）

漢字やひらがな、カタカナなどを手書き入力するとそのまま認識され、文字として入力することができます。

Graffiti

（グラフィティ）

Graffiti という手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。

● スクリーンキーボード

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：スクリーンキーボードで文字を入力する」をご覧ください。

● ソフトウェアキーボード（116 ページ）

スクリーンキーボードと操作方法は同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションが使えます。

● パソコンからの HotSync

大量の文字を入力したり、パソコンのキーボードを使って入力したいときは CLIE Palm Desktop ソフトウェアを使って、HotSync することで文字データをクリエに転送できます。

➡**詳しくは**、CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヒント

日本語変換システム「ATOK」を使うこともできます

本機には Palm OS 標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のある ATOK が付属しています。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：ATOK を使用する」をご覧ください。

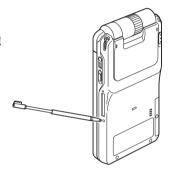
本機を再起動する

通常、本機を再起動（リセット）する必要はありませんが、**電源が入らなくなったり、操作に反応しなくなった場合は、**ソフトリセットを実行して本機を再起動させることで症状を解消できる場合があります。
このような場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。

再起動する（ソフトリセット）

ソフトリセットを実行しても、本機に記録したデータや追加インストールしたアプリケーションはそのまま残ります。

スタイラスを使って、RESET ボタンをゆっくりと押す。

実行中の動作が停止して、本機が再起動します。
再起動後は、「palm POWERED」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて時刻と日付を設定するための「環境設定」画面が表示されます。

ご注意

- RESET ボタンを押したあと「環境設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スタイラス以外で、RESET ボタンを押さないでください。故障の原因になる場合があります。

ソフトリセットで再起動しないときは（ハードリセット）

ソフトリセットで問題が解消されない場合は、ハードリセットを行って本機を再起動する必要があります。

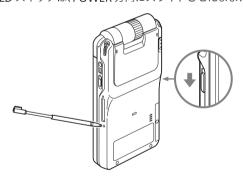
ご注意

- **ハードリセットを行うとこれまでに記録したデータや、追加インストールしたアプリケーションはすべて消去されます。**
- ソフトリセットではどうしても再起動できない場合などを除いては、ハードリセットは絶対に実行しないでください。
  ただし、HotSync でパソコンにバックアップを取っていれば、次に HotSync したときにパソコンに保存してあるデータは復元できます。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」をご覧ください。

1 **POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。**

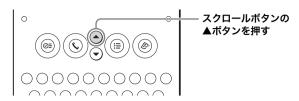
2 **POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせたまま、スタイラスで RESET ボタンをゆっくりと押して、離す。**

ご注意

POWER/HOLD スイッチは、POWER 方向にスライドさせたままにしてください。

3 **「palm POWERED」画面が表示されたら、3 秒ほど待って POWER/HOLD スイッチから指を離す。**

本機に記録したデータや追加インストールしたアプリケーションがすべて消去されることを示すメッセージが表示されます。

次のページにつづく

4 スクロールボタンの▲ボタンを押す。

本機がハードリセットされます。
再起動後は、「palm POWERED」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて「初期設定」画面が表示されます。「電源を入れて初期設定を行う」（9 ページ）の手順に従って、初期設定してください。
ハードリセットを行ったあとも、現在の日付と時刻はそのまま残ります。書式などの設定は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意

- ハードリセットを行うとき、RESET ボタンを押したあと「初期設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スクロールボタンを押す時間が短いと、ハードリセットが実行されない場合があります。

インターネットに接続する

本機に市販のCF(コンパクトフラッシュ)通信カードをつないでインターネットに接続し、ホームページを見たり、メールをやりとりすることができます。

準備する

インターネットに接続するには、準備が必要です。
次ページの流れに従って、インターネット接続に必要な準備を行ってください。
ここでは、市販のCF通信カードを使ってインターネットに接続する方法を説明します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ヒント

- PHS／携帯電話をつないでインターネットに接続する場合は、お使いのPHS／携帯電話やモバイルコミュニケーションアダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に対応のワイヤレスLANカードを使った接続については、お使いのワイヤレスLANカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

1.CF 通信カードを用意する。(37 ページ)

インターネットに接続するには、市販の CF 通信カードとデータ通信サービス事業者との契約が必要です。

2. プロバイダ(インターネット接続業者)と契約する。(37 ページ)

プロバイダとは、インターネット接続サービスを提供する会社のことです。プロバイダと契約するとインターネット接続に必要な情報が記載された資料が送られてきます。
すでに契約をされている場合でも、CF 通信カードを使った接続サービスの契約がされているかを確認しましょう。

3. チェックシートを作成する。(38 ページ)

契約したプロバイダでインターネットに接続するために必要な設定項目を確認します。必要な情報で不明な点は、プロバイダにお問い合わせください。

4. ネットワーク(プロバイダ)の設定をする。(39 ページ)

チェックシートで確認した設定項目をもとに、本機にネットワークの設定を行います。

1.CF 通信カードを用意する

本機でインターネットに接続するには、プロバイダのアクセスポイントに通信するための市販の CF 通信カードが必要です。また、データ通信カードの場合は、そのカードに対応したデータ通信事業者と回線契約をする必要があります。
データ通信事業者ごとに使用可能な CF 通信カードとサービス内容が異なりますので、サービス内容をよくご確認の上、ご自分に適した CF 通信カードを選んでください。

➡**対応している CF 通信カードの最新情報について詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

2. プロバイダ(インターネット接続業者)と契約する

本機でインターネットに接続するには、プロバイダとの契約が必要です。
お使いになる CF 通信カードで使うコースに対応したプロバイダと、データ通信が可能なコースの契約をします。

プロバイダと契約するには

プロバイダによって契約方法が異なります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。

すでにプロバイダと契約している場合は

すでにプロバイダと契約されている場合でも、コースによっては CF 通信カードによる接続サービスが料金に含まれていない場合がありますので、サービス内容をよくお確かめください。

3. チェックシートを作成する

お使いになるCF通信カードを選び、データ通信事業者とプロバイダとの契約が終わったら、本機がインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダとの契約をすると、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が送付されてきます。
この資料をもとに、本機でインターネットに接続するために必要な設定項目を次のチェックシートに記入しましょう。このチェックシートは、「ネットワーク(プロバイダ)の設定をする」(39ページ)および「接続に必要な設定をする」(41ページ)、「メールアドレスの設定をする」(45ページ)の設定で必要になります。

チェックシート

必要な設定項目	あなたの設定値	So-netの場合(例)
❶ プロバイダ名		So-net
❷ ユーザー名		ichiro@aa2
❸ パスワード		
❹ CF通信カード名		
❺ アクセスポイントの電話番号(PIAFS専用またはパケット通信専用など)		03-5792-9060
❻ プライマリDNS	・ ・ ・	202.238.95.24
❼ セカンダリDNS	・ ・ ・	202.238.95.26
❽ IPアドレス		
プロキシサーバーを使用する場合 ❾ プロキシのIPアドレス プロキシのポート番号		
❿ メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓫ 受信メールサーバー(POP3)		pop.aa2.so-net.ne.jp
⓬ 送信メールサーバー(SMTP)		mail.aa2.so-net.ne.jp
⓭ メールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓮ メールパスワード(POPアカウントパスワード)		

ご注意

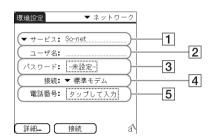
設定項目の内容がわからない場合は、契約したプロバイダにお問い合わせください。

4. ネットワーク(プロバイダ)の設定をする

作成したチェックシートをご覧になりながら、本機にネットワークの設定を行います。

1 ホーム画面で[環境設定]アイコンを選んで「環境設定」を起動し、画面右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

ネットワークの設定画面が表示されます。

2 チェックシートを参照しながら、プロバイダの情報を入力する。

1 サービス

チェックシートの ❶ プロバイダ名のプロバイダを選びます。
リストの中にチェックシートのプロバイダ名が表示されないときは、[サービス]メニューから[新規]を選んで、チェックシートのサービス名(プロバイダ名)を入力することもできます。

2 ユーザ名

チェックシートの ❷ ユーザー名を入力します。

3 パスワード

チェックシートの ❸ パスワードを入力します。

4 接続

チェックシートの ❹CF 通信カード名と対応している設定を、下記の例を参考に選びます。

DDI ポケット製のコンパクトフラッシュ型 PHS カードの場合:PHS カード (D)
NTT ドコモ製のコンパクトフラッシュ型 PHS カードの場合:PHS カード (N)
モデムカードの場合:アナログモデムカード
モバイルコミュニケーションアダプターの場合:Sony モバイルアダプタ

次のページにつづく

5 **電話番号**

チェックシートの ❺ アクセスポイントの電話番号を入力します。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ヒント

お使いの CF 通信カード／ PHS ／携帯電話によっては、「#32」などのオプション番号が必要な場合があります。

➡**詳しくは、**プロバイダおよび電話会社へお問い合わせください。

ホームページを見る

付属のホームページ閲覧アプリケーション「NetFront v3.0 for CLIE」に必要な設定を行って、インターネットに接続しましょう。

接続に必要な設定をする

1 ホーム画面で NetFront v3.0 アイコンを選んで、「NetFront v3.0 for CLIE」を起動する。

ブラウズ画面が表示されます。

2 メニュー アイコンをタップして、[オプション]メニューから[NetFront 設定]をタップする。

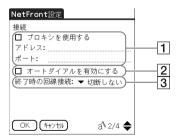
「NetFront 設定」画面の 1 ページ目が表示されます。

3 画面右下にある の をタップして 2 ページ目を表示する。

「接続」が表示されます。

4 接続方法を設定する。

インターネットに接続する

次のページにつづく

1 **プロキシを使用する**

通常は必要ありません。

プロバイダからプロキシサーバーのアドレスを指定されている場合は、[プロキシを使用する]の □ をタップして ☑ にして、チェックシートの ❾ プロキシの IP アドレスと、プロキシのポート番号を入力します。

2 **オートダイアルを有効にする**

[オートダイアルを有効にする]の □ をタップして ☑ にすると、インターネットに接続する際に「確認」画面を表示せず、自動的に接続します。

3 **終了時の回線接続**

▼ をタップして、「NetFront v3.0 for CLIE」の終了時の動作を選びます。

切断しない：他のアプリケーションを起動しても、インターネットに接続を続けます。

切断する：インターネットを切断してから、他のアプリケーションを起動します。

通知する：切断する、切断しないを確認するダイアログが表示されます。

5 ⬍の▼をタップして 3 ページ目を表示する。

「ホームの設定」が表示されます。

6 最初の行をタップしたあと、ホーム画面の URL を入力する。

ここで設定したホームページは、ブラウズ画面でメニュー をタップして、[開く]メニューから[ホーム]をタップしたときに表示できるようになります。

ヒント

▼[入力支援]に登録されている文字を利用すると便利です。

7 ⬍の▼をタップして 4 ページ目を表示する。

「BACK ボタン操作」が表示されます。

8 ▼をタップして、BACK ボタンを押したときの機能を選ぶ。

ホーム画面：クリエのホーム画面に戻ります。

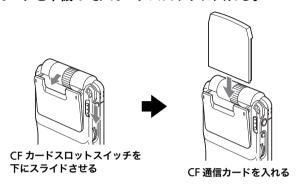
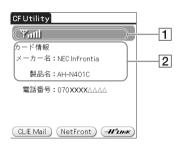
履歴を 1 つ戻る：ひとつ前の画面に戻ります。

9 [OK]をタップする。

ブラウズ画面が表示されます。

これで接続に必要な設定が終わりました。

インターネットに接続してホームページを見る

1 CF 通信カードを本機の CF カードスロットに入れる。

「CF Utility」が起動して、「CF Utility」画面が表示されます。ここで通信が可能な状態になっているか確認してください。

1 **電波状態**

通信品質を表示します。使用している CF 通信カードによって表示が異なります。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CF Utility」をご覧ください。

2 **カード情報**

メーカー名：CF 通信カードのメーカー名を表示します。

製品名：CF 通信カードの製品名を表示します。

2 [NetFront]をタップして、「NetFront v3.0 for CLIE」を起動する。

ブラウズ画面が表示されます。

次のページにつづく

3 オフラインアイコンをタップする。

「確認」画面が表示されます。

ヒント

「NetFront 設定」画面で[オートダイヤルを有効にする]を に設定すると、自動的に接続が開始されます。

4 [OK]をタップする。

インターネットに接続されて、オンラインアイコンが表示されます。

見たいホームページを指定する

1 ブラウズ画面でメニューアイコンをタップして、[開く]メニューから[URL 入力]をタップする。

「URL 入力」画面が表示されます。

2 見たいホームページの URL を入力する。

ヒント

[入力支援]に登録されている文字を利用すると便利です。

3 [OK]をタップする。

入力した URL のホームページが表示されます。

インターネットの接続を切断する

ブラウズ画面でオンラインアイコンをタップします。

切断されると、オンラインアイコンがオフラインアイコンに変わります。

➡**インターネット接続について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「インターネットやメールを楽しむ」をご覧ください。

メールをやりとりする

付属のメールアプリケーション「CLIE Mail」に必要な設定を行って、メールのやりとりをしてみましょう。

メールアドレスの設定をする

1 ホーム画面で CLIE Mail アイコンを選んで、「CLIE Mail」を起動する。

メール一覧画面が表示されます。

2 メニュー アイコンをタップして、[オプション]メニューから[アカウント設定]をタップする。

「アカウント設定」画面が表示されます。

3 [新規]をタップする。

「新規アカウント」画面の「名前」が表示されます。

4 メール送信時の「差出人」欄に、メールの差出人として使う名前を入力して、[次へ]をタップする。

「電子メールアドレス」が表示されます。

5 チェックシートの ⑩ メールアドレスを入力して、[次へ]をタップする。

「電子メールサーバー名」が表示されます。

インターネットに接続する

次のページにつづく

6 [受信メールサーバー(POP3)]にチェックシートの ⑪ 受信メールサーバー(POP3) を入力し、[送信メールサーバー(SMTP)]にチェックシートの ⑫ 送信メールサーバー(SMTP) を入力して[次へ]をタップする。

「メールログオン」が表示されます。

7 アカウント名にチェックシートの ⑬ メールアカウント名を入力し、パスワードにチェックシートの ⑭ メールパスワードを入力して[次へ]をタップする。

「設定完了」が表示されます。

8 [完了]をタップする。

「アカウント設定」画面が表示されます。

これでメールをやりとりするのに必要な設定が終わりました。

メールを送信してみる

自分のメールアドレスにメールを送信してみます。

1 CF 通信カードを本機の CF カードスロットに入れる。

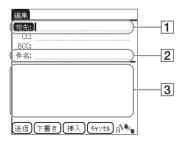
「CF Utility」が起動して、「CF Utility」画面が表示されます。ここで通信が可能な状態になっているか確認してください。

2 [CLIE Mail]をタップして「CLIE Mail」を起動する。

メール一覧画面が表示されます。

3 新規メール アイコンをタップする。

「編集」画面が表示されます。

4 宛先、件名、本文を入力する。

1 **宛先**

送り先のメールアドレスを入力します。今回は、自分のメールアドレスを入力します。

2 **件名**

メッセージのタイトルを入力します。

3 **メッセージの本文を入力します。**

5 [送信]をタップして、[ただちに送信]を選ぶ。

インターネットに接続されて「通信ステータス」画面が表示され、メールが送信されます。

ヒント

[あとで送信]をタップすると、書いたメールは「送信」カテゴリに一時保管されます。一時保管されたメールは、送信 アイコンをタップすると送信されます。

6 [OK]をタップする。

メール一覧画面が表示されます。

7 オンライン アイコンをタップする。

切断されると、オンライン アイコンがオフライン アイコンに変わります。

送ったメールを受信する

「メールを送信してみる」で送ったメールを受信してみます。

1 メール一覧画面の受信 アイコンをタップする。

インターネットに接続されて「通信ステータス」画面が表示され、「メールを送信してみる」で送ったメールが受信されます。

2 [OK]をタップする。

受信メール一覧画面にメールが表示されます。

3 オンライン アイコンをタップする。

切断されると、オンライン アイコンがオフライン アイコンに変わります。

4 受信したメールをタップする。

受信したメールの本文が表示されます。

➡**メールの設定や送受信について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「インターネットやメールを楽しむ」をご覧ください。

使ってみよう

静止画を楽しむ

クリエで、デジタルスチルカメラのように静止画を撮影することができます。また、撮影した画像をさまざまに活用することができます。

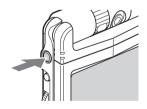
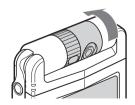
- **使用するアプリケーション：**
  - 静止画を撮影する：「CLIE Camera」
  - 静止画を見る：「CLIE Viewer」

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「静止画を楽しむ」をご覧ください。

静止画を撮影する

1 CAPTURE ボタンを押して、「CLIE Camera」を起動する。

ヒント

ホーム画面で CLIE Camera アイコンを選んで、起動することもできます。

2 内蔵カメラのレンズ部分を回転させて、被写体に向ける。

3 ファインダーで被写体をとらえて、CAPTURE ボタンを押す。

撮影されます。

ご注意

撮影では、手ブレを防ぐためにクリエを両手でしっかりと固定し、ゆっくりと CAPTURE ボタンを押すことをおすすめします。CAPTURE ボタンを押したあとに、黒い画面が表示されている間は露光中ですので、クリエを動かさないでください。露光中に動かすと、画像がぶれてしまいます。特に、キャプチャーライトやスローシャッターを使っての撮影では、シャッタースピードが遅くなりますのでご注意ください。

ヒント

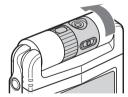
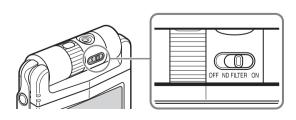
画面右下の CAPTURE (CAPTURE) アイコンをタップして撮影することもできます。

ND (Neutral Density) FILTER を使って撮影する(PEG-NX80V のみ)

海辺やスキー場など、極端に日差しが強いところで撮影する場合は、ND FILTER を ON にしてお使いください。ND FILTER を使うと、光量が制限されて、被写体をより鮮明に撮影することができます。

1 内蔵カメラのレンズ部分を回転させて、ND FILTER スイッチを手前に向ける。

2 ND FILTER スイッチを ON にスライドさせる。

次のページにつづく

3 **「静止画を撮影する」(48 ページ)の手順 1 から 3 に従って撮影する。**

4 **ND FILTER スイッチを OFF にスライドさせる。**

ご注意

ND FILTER スイッチを操作すると、画面の明るさが急に変わることがあります(故障ではありません)。

撮影した静止画を見るには

「CLIE Viewer」で見ることができます。

➡**詳しくは、**「手書きメモや音声メモ、画像を一覧から再生する」(58 ページ)をご覧ください。

ヒント

「CLIE Camera」画面の CLIE Viewer アイコンをタップして、「CLIE Viewer」を起動することもできます。

静止画の楽しみかた

用意する

静止画を撮る

CLIE Camera（クリエカメラ）........................... 72 ページ

パソコンから静止画を取り込む

Image Converter（イメージコンバーター）................ 74 ページ

見る・選択する

一覧から探して静止画を見る／選択する

CLIE Viewer（クリエビューワー）........................ 72 ページ

活用する

アルバムに整理する

CLIE Album（クリエアルバム）........................... 73 ページ

静止画をパソコンで整理する

PictureGear Studio（ピクチャーギアスタジオ）............ 75 ページ

静止画を自動表示する

PhotoStand（フォトスタンド）........................... 73 ページ

静止画を加工する

Photo Editor（フォトエディター）........................ 73 ページ

アドレスに貼り付ける

アドレス... 80 ページ

メールで送る

CLIE Mail（クリエメール）.............................. 79 ページ

イメージステーションにアップロードする

Image Upload Utility

（イメージアップロードユーティリティ）.................. 74 ページ

パソコンに送る

Data Import（データインポート）........................ 85 ページ

動画を楽しむ

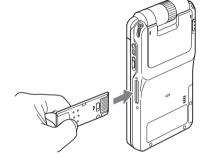
クリエで、デジタルビデオカメラのように動画を撮影することができます。また、撮影した画像を"メモリースティック"に保存することができます。

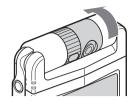
- **使用するアプリケーション：**
  - 動画を撮影する：「Movie Recorder」
  - 動画を見る：「Movie Player」、「CLIE Viewer」
- **必要な機材：** "メモリースティック"

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「動画を楽しむ」をご覧ください。

動画を撮影する

1 撮影したい動画を記録する"メモリースティック"をクリエに入れる。

➡**"メモリースティック"について詳しくは、**「各部のなまえとはたらき："メモリースティック"を入れる／取り出す」（106 ページ）をご覧ください。

2 ホーム画面で Movie Rec アイコンを選んで、「Movie Recorder」を起動する。

3 **内蔵カメラのレンズ部分を回転させて、被写体に向ける。**

4 **ファインダーで被写体をとらえて、CAPTURE ボタンを押す。**

撮影を開始します。

ヒント

画面右下の REC アイコンをタップして撮影を開始することもできます。

5 **撮影を終了するときは、もう 1 度 CAPTURE ボタンを押す。**

使ってみよう

ND (Neutral Density) FILTER を使って撮影する(PEG-NX80V のみ)

海辺やスキー場など、極端に日差しが強いところで撮影する場合は、ND FILTER を ON にしてお使いください。ND FILTER を使うと、光量が制限されて、被写体をより鮮明に撮影することができます。

1 **内蔵カメラのレンズ部分を回転させて、ND FILTER スイッチを手前に向ける。**

次のページにつづく

2 ND FILTER スイッチを ON にスライドさせる。

3 「動画を撮影する」(52 ページ)の手順 1 から 4 に従って撮影する。

4 ND FILTER スイッチを OFF にスライドさせる。

ご注意

- 撮影中に ND FILTER スイッチを切り換えると、画像が乱れたり、音声にノイズが入ることがあります。
- ND FILTER スイッチを操作すると、画面の明るさが急に変わることがあります(故障ではありません)。

撮影した動画を見るには

「CLIE Viewer」で見ることができます。

➡**詳しくは、**「手書きメモや音声メモ、画像を一覧から再生する」(58 ページ)をご覧ください。

動画の楽しみかた

用意する

動画を撮る

Movie Recorder（ムービーレコーダー）.................... 75 ページ

パソコンから動画を取り込む

Image Converter（イメージコンバーター）................. 74 ページ

Giga Pocket Plugin（ギガポケットプラグイン）............. 77 ページ

見る・選択する

一覧から探して動画を見る／選択する

CLIE Viewer（クリエビューワー）.......................... 72 ページ

動画を再生する

Movie Player（ムービープレイヤー）...................... 76 ページ

送る

メールで送る

CLIE Mail（クリエメール）................................ 79 ページ

音声メモを録音する (Voice Recorder)

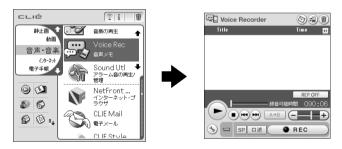
ボイス　レコーダー

本機の内蔵マイクを使って音声を録音することができます。また音声メモをアラーム音として利用したり、メールに添付して送ることもできます。

- **使用するアプリケーション：**「Voice Recorder」、「CLIE Viewer」（再生時）

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

音声メモを録音する

1 ホーム画面で Voice Rec アイコンを選んで、「Voice Recorder」を起動する。

2 VOICE REC スイッチをスライドさせる。

録音が開始されます。内蔵マイクに向かって話してください。

ヒント

- クリエの電源が入っていない状態でも、VOICE REC スイッチをスライドさせると「Voice Recorder」が起動し、ただちに録音が開始されます。
- 音声メモの録音には、[会議]と[口述]の 2 種類があります。
  ➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

3 録音を停止するときは、もう 1 度 VOICE REC スイッチをスライドさせる。

音声メモを再生する

「Voice Recorder」または、「CLIE Viewer」で再生できます。

➡**「Voice Recorder」について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

➡**「CLIE Viewer」について詳しくは、**「手書きメモや音声メモ、画像を一覧から再生する」(58 ページ)をご覧ください。

手書きメモや音声メモ、画像を一覧から再生する

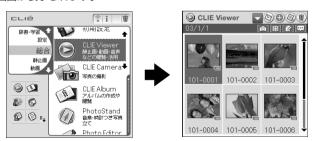
クリエ本体や“メモリースティック”にある静止画や動画を再生したり、音声メモや手書きメモを開くときは「CLIE Viewer」を使います。異なる種類のファイルを日付け順に表示するので、一覧からファイルを探して表示したり、再生したりすることができます。
また、静止画や動画をメールに添付したり、「PhotoStand」や「CLIE Album」、「Photo Editor」などのアプリケーションで活用するファイルを選ぶことができます。

- **使用するアプリケーション：**「CLIE Viewer」
- **使用できるファイル：**
  - 静止画：JPEG（DCF）形式、PictureGear Pocket 形式
  - 動画：Movie Player 形式、MPEG Movie 形式
  - 手書きメモ
  - 音声メモ

➡**クリエで再生、活用できるファイル形式について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Viewer」をご覧ください。

ファイルを開く／再生する

1 ホーム画面で CLIE Viewer アイコンを選んで、「CLIE Viewer」を起動する。

ファイルの一覧表示画面が表示されます。

ヒント
「CLIE Camera」画面の CLIE Viewer アイコンをタップして、「CLIE Viewer」を起動することもできます。

2 ジョグダイヤルを回して表示したいファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。

選んだファイルが表示／再生されます。

ヒント

- アイコンをタップして、表示／再生することもできます。
- ファイルの一覧は、作成日時順に表示されています。

ファイルを活用する／削除する

クリエ本体や“メモリースティック”にある静止画や動画をメールに添付したり、静止画を「PhotoStand」（73 ページ）、「CLIE Album」（73 ページ）、「Photo Editor」（73 ページ）の各アプリケーションで活用する場合やファイルを削除する場合、「CLIE Viewer」の一覧表示画面から目的のファイルを選ぶことができます。

1 「CLIE Viewer」を起動する。

2 コマンドボタンをタップして機能を選択する。

：**メールに添付するファイルを選ぶ**

：**「PhotoStand」に登録する静止画を選ぶ**

：**インターネット上の画像アルバムサイト「イメージステーション」にアップロードする**
「Image Upload Utility」をインストールする必要があります。
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Image Upload Utility」をご覧ください。

：**削除するファイルを選ぶ**

：**その他のアプリケーション（「Photo Editor」、「CLIE Album」）はプルダウンメニューから機能を選びます。**

3 ファイルの □ をタップして ☑ にする。

ヒント

すべてのファイルを選ぶ場合は、[全選択]をタップします。

4 [OK]をタップする。

手順 2 で選んだ機能を実行します。

音楽を楽しむ

パソコンにある音楽ファイルをクリエに入れた“メモリースティック”に転送して、音楽を聞くことができます。

- **使用するアプリケーション：**
  －ATRAC3 形式の音楽ファイルを転送する：
  「Audio Player」、「SonicStage」（パソコン用）
  －MP3 形式の音楽ファイルを転送する：
  「Data Import」、「Data Export」（パソコン用）
  －クリエで音楽ファイルを再生する：「Audio Player」
- **必要な機材：**付属のオーディオリモコン、ヘッドホン、“メモリースティック”
- **使用できるデータ（形式）：**ATRAC3、MP3
- **準備：**
  ①パソコンと一緒に使えるようにする
  ➡**手順について詳しくは**、「準備する：パソコンと一緒に使えるようにする」（16 ページ）をご覧ください。
  ②「SonicStage」、「Data Export」をパソコンにインストールする
  ➡**手順について詳しくは**、「アプリケーションを使いこなす：使いたいアプリケーションをインストールする」（71 ページ）をご覧ください。

➡**使用するアプリケーションについて詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「音楽を楽しむ」をご覧ください。

音楽ファイルをクリエに転送する

聞きたい音楽ファイルを、「SonicStage」または「Data Export」でパソコンからクリエに転送します。

音楽ファイルをクリエで再生する

1 付属のオーディオリモコンとヘッドホンを接続する。

2 ホーム画面で AudioPlayer アイコンを選んで起動する。

3 再生 ボタンをタップして音楽を再生する。

音楽を停止するときは、停止 ボタンをタップします。

ヒント

付属のオーディオリモコンでも操作できます。

予定表を記入する（予定表）

会議や出張など、さまざまな予定を日付けや時刻とともに記録して、効率よく管理できます。

- **使用するアプリケーション：**「予定表」

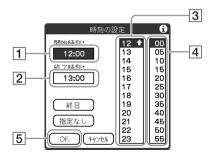
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「予定表」をご覧ください。

新しくスケジュールを入力する

1 ⊘≡ボタンを押す。

「予定表」が起動します。

2 [新規]をタップして、スケジュールの開始時刻と終了時刻を設定する。

1 タップして開始時刻を設定します。
2 タップして終了時刻を設定します。
3 タップして「時」を選びます。
4 タップして「分」を選びます。
5 設定が完了したらタップして決定します。

3 スケジュールを入力する。

ヒント

➡**文字の入力方法について詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

スケジュールを削除する

1 「予定表」画面で、削除したいスケジュールをタップしたあと、メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

2 [予定表]メニューの[予定の削除 ...]をタップする。

「予定の削除」画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

ヒント

「予定の削除」画面で[パソコンにバックアップ]を ☑ にしていると、次回 HotSync したときに、本機から削除したデータがパソコンに保存されます。
保存されたデータを見るには、パソコンで CLIE Palm Desktop ソフトウェアを開き、「予定表」画面の「ファイル」メニューから[バックアップファイルを開く]を選びます。

使ってみよう

住所や電話番号を管理する（アドレス）

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を登録できます。
また画像を貼り付けたり、「名刺」に設定して他のクリエや Palm OS 搭載機器に赤外線で送ることもできます。

- **使用するアプリケーション：**「アドレス」

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「アドレス」をご覧ください。

新しくアドレスを入力する

1 ボタンを押す。

「アドレス」が起動します。

2 [新規]をタップする。

「アドレスの編集」画面が表示されます。

3 それぞれの項目をタップして、情報を入力する。

ヒント

画面右下の▲▼をタップすると入力画面がスクロールします。

アドレスを削除する

1 **「アドレス」画面で、削除したいアドレスをタップしたあと、メニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

2 **[アドレス]メニューの[アドレスの削除 ...]をタップする。**

「アドレスの削除」画面が表示されます。

3 **[OK]をタップする。**

ヒント

「アドレスの削除」画面で[パソコンにバックアップ]を ☑ にしていると、次回HotSync したときに、本機から削除したデータがパソコンに保存されます。
保存されたデータを見るには、パソコンで CLIE Palm Desktop ソフトウェアを開き、「アドレス」画面の「ファイル」メニューから[バックアップファイルを開く]を選びます。

パソコンの予定表やアドレスと連携する

HotSync（22 ページ）を使って、クリエで入力した予定表やアドレスをパソコンに転送したり、パソコンで管理している予定表やアドレスをクリエに転送することができます。

パソコンで使うアプリケーションに応じて、次の 2 つの方法があります。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアと連携する

パソコンの CLIE Palm Desktop ソフトウェアで管理している予定表やアドレスとクリエを連携します。

- **準備：**CLIE Palm Desktop ソフトウェアはパソコンにインストールが必要です。

➡**CLIE Palm Desktop ソフトウェアとの連携について詳しくは、**「パソコンとファイル／データを同期する（HotSync）」（22 ページ）をご覧ください。

Microsoft® Outlook と連携する（Intellisync Lite for Sony CLIE）

- **準備：**Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアはパソコンにインストールが必要です。

➡**インストールの方法について詳しくは、**「使いたいアプリケーションをインストールする」（71 ページ）をご覧ください。

ヒント

Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアは「インストール CD-ROM」画面の[データを管理する]からインストールできます。

➡**操作や設定の方法について詳しくは、**Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム]（Windows XP では[すべてのプログラム]）－[Intellisync Lite for Sony CLIE]－[Intellisync ヘルプ]の順にクリックします。

パソコンで作成した文書をクリエで見る (Picsel Viewer for CLIE)

ピクセル ビューワー フォー クリエ

Microsoft Word や Excel、PowerPoint、PDF などパソコンで作成した文書を、クリエで見ることができます。

- **使用するアプリケーション：**「Picsel Viewer for CLIE」、「Data Import」、「Data Export」（パソコン用）
- **必要な機材：**記録メディア（"メモリースティック"または CF メモリーカード）
- **使用できるデータ（形式）：** doc 形式、xls 形式、ppt 形式、txt 形式、JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式、BMP 形式、PDF 形式、HTML 形式
- **準備：**
  ①パソコンと一緒に使えるようにする
  ➡**手順について詳しくは**「準備する：パソコンと一緒に使えるようにする」（16 ページ）をご覧ください。
  ②「Data Export」をパソコンにインストールする
  ➡**手順について詳しくは**、「アプリケーションを使いこなす：使いたいアプリケーションをインストールする」（71 ページ）をご覧ください。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Picsel Viewer for CLIE」をご覧ください。

文書をクリエに転送する

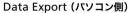
1 パソコンで、見たい文書を準備する。

2 記録メディアをクリエに入れる。

➡**"メモリースティック"について詳しくは、**「各部のなまえとはたらき：" メモリースティック"を入れる／取り出す」（106 ページ）をご覧ください。
➡**CF メモリーカードについて詳しくは、**「各部のなまえとはたらき：CF カードを入れる／取り出す」（107 ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

3 見たい文書を、クリエに入れた記録メディアに転送する。

「Data Export」、「Data Import」を使用して、クリエに入れた記録メディアに文書を転送します。

Data Export（パソコン側）　Data Import（クリエ側）

文書を見る

1 ホーム画面で Picsel Viewer アイコンを選んで、「Picsel Viewer for CLIE」を起動する。

2 画面右下のカルーセル アイコンをタップする。

カルーセルメニュー画面が表示されます。

3 ファイル表示 アイコンをタップして、記録メディア内の見たい文書をタップする。

文書が表示されます。

アプリケーションを使いこなす

本機に付属のアプリケーションや「クリエ アプリケーションマニュアル」の使いかたを紹介します。付属アプリケーションに関する詳細のお知らせについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

付属アプリケーションの種類について

本機の付属アプリケーションには、以下の 3 種類があります。

- **本機にすでにインストールされていて、すぐにお使いになれるもの**
- **お客様が本機にインストールする必要のあるもの**
  インストールが必要なアプリケーションについては、「使いたいアプリケーションをインストールする」（71 ページ）の手順に従い、インストールしてください。
- **パソコンにインストールして使うもの**

アプリケーションマニュアルの使いかた

付属のアプリケーションの詳しい使いかたは、パソコンの「クリエ アプリケーションマニュアル」で見ることができます。

ご注意

- あらかじめ「ソフトウェアをパソコンにインストールする」（16 ページ）に従ってCLIE Palm Desktop ソフトウェアをお使いのパソコンにインストールしておいてください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールすると、「クリエ アプリケーションマニュアル」も同時にインストールされます。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」は「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降で動作確認をしています。正しく表示するためには、「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降を使ってご覧ください。

クリエ アプリケーションマニュアルを開く

1 パソコンのデスクトップ画面にある （[クリエ マニュアル PEG-NX80V_PEG-NX73V]アイコン）をダブルクリックする。

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面が表示されます。

ヒント

デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから、[プログラム]（Windows XP の場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－[PEG-NX80V_PEG-NX73V について]－[クリエ マニュアル]の順にクリックして、「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面を表示することもできます。

2 画面上の[クリエ アプリケーションマニュアル]をクリックする。

「クリエ アプリケーションマニュアル」が表示されます。

ヒント

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面から、冊子で付属している「はじめにお読みください（取扱説明書）」、「クリエ読本」、「困ったときは Q&A」の PDF を開くこともできます。

ヒント

- 「クリエ アプリケーションマニュアル」を閉じるには、「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある をクリックします。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある （最小化）ボタンを使って、「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面から隠す（最小化する）ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面上に表示させたまま、他のソフトウェアなどを操作することもできます。

使いたいアプリケーションをインストールする

付属のインストール CD-ROM からインストールの必要なアプリケーションは、以下の手順でパソコンからクリエにインストールします。
あらかじめ、付属のインストール CD-ROM で CLIE Palm Desktop ソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続しておいてください。

ご注意

本機に付属のアプリケーションは、本機でのみご使用いただけます。他のクリエまたは Palm OS 搭載機器での動作は保証いたしません。

付属のインストール CD-ROM からインストールする

1 **パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了する。**

2 **パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。**

インストーラが起動し、インストール画面が表示されます。

3 **画面左側からインストールしたいアプリケーションの種類([音楽を楽しむ]など)をクリックする。**

4 **インストールするアプリケーションの[インストール]ボタンをクリックする。**

以降、画面の指示に従って操作してください。

5 **クリエにインストールするアプリケーションの場合は、クレードルの HotSync ボタンを押す。**

HotSync が始まり、選んだアプリケーションがクリエに転送されます。

6 **パソコンの画面で[終了]をクリックする。**

インストール画面が終了します。

ヒント

アプリケーションは CLIE Palm Desktop ソフトウェアの機能を使ってクリエにインストールすることもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「アプリケーションを追加して機能を拡張する:インストールする:パソコンからクリエにインストールする」をご覧ください。

使ってみよう

付属アプリケーションの紹介

ここでは、本機に付属のアプリケーションを「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」画面で表示されるグループ順に紹介しています。

➡**「CLIE Launcher」について詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）を使いこなす」をご覧ください。

総合

一覧から探してファイルを見る／再生する

使用するアプリケーション

CLIE Viewer（クリエ ビューワー） クリエ用

概要

静止画、動画、手書きメモ、音声メモのファイルをまとめて管理、閲覧できるアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画

静止画を撮る

使用するアプリケーション

CLIE Camera（クリエ カメラ） クリエ用

キーワード

JPEG（DCF）形式

概要

本機の内蔵カメラを使って静止画を撮影するためのアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

アルバムに整理する

使用するアプリケーション

CLIE（クリエ） Album（アルバム） クリエ用

概要

クリエ本体または“メモリースティック”に保存された静止画をアルバムにまとめて管理できるアプリケーションです。
パソコン用のソフトウェア「PictureGear Studio」と連携してクリエのアルバムデータをパソコンで使うこともできます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を自動表示する

使用するアプリケーション

PhotoStand（フォトスタンド） クリエ用

キーワード：JPEG（DCF）形式

概要

静止画を次々に自動表示するためのアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を加工する

使用するアプリケーション

Photo（フォト） Editor（エディター） クリエ用

キーワード： JPEG（DCF）形式

概要

静止画の上に「お絵かき」をするためのアプリケーションです。
無地のキャンバスを選んで絵を描くこともできます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで撮影した静止画を「イメージステーション」にアップロードする

- **使用するアプリケーション**
  Image Upload Utility（イメージ アップロード ユーティリティ） クリエ用

- **キーワード**
  JPEG（DCF）形式

- **概要**
  静止画をインターネット上の画像アルバムサイト、「イメージステーション」にアップロードするためのアプリケーションです。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です 通信機器が必要です

- **インストール CD-ROM のメニュー：**［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから静止画／動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**
  Image Converter（イメージ コンバーター） PC用

- **キーワード：**JPEG（DCF）形式、Movie Player 形式

- **概要**
  パソコンの画像をクリエで見ることができる形式に変換して、“メモリースティック”に保存します。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です “メモリースティック”が必要です

- **インストール CD-ROM のメニュー：**［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を整理する

使用するアプリケーション

ピクチャーギア スタジオ
PictureGear Studio PC用

概要

静止画をパソコンに取り込み活用するためのソフトウェアです。

- パソコンで静止画を使ったアルバムやバインダーを作成する
- パソコンに静止画を取り込み管理する
- CD や“メモリースティック”などのラベルの印刷をする
- CLIE Album で作成されたデータをパソコンとやり取りする
  ※「CLIE Album Plugin」をクリエにインストールする必要があります。

ご使用にあたり： インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

動画

動画を撮る

使用するアプリケーション

ムービー レコーダー
Movie Recorder クリエ用

www.aibo.com

キーワード

Movie Player 形式（クリエで撮影したり、Image Converter や Giga Pocket Plugin で変換した動画形式）

概要

本機の内蔵カメラを使って動画を撮影するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

動画を再生する

使用するアプリケーション

Movie Player（ムービー プレイヤー） クリエ用

www.aibo.com

キーワード

Movie Player 形式（クリエで撮影したり、Image Converter で変換した動画形式）、
MPEG Movie 形式（ソニー製デジタルスチルカメラやハンディカムで撮影した MPEG1 形式の動画）、
プレイリスト、連続再生機能、インデックス機能

概要

クリエを使って撮影した動画や、パソコンの「Image Converter」や「Giga Pocket Plugin」でクリエ用に変換した動画を再生するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： **“メモリースティック”が必要です**

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Macromedia® Flash™ を再生する

使用するアプリケーション

Macromedia Flash Player 5（マクロメディア フラッシュ プレイヤー） クリエ用

キーワード：swf 形式

概要

Macromedia Flash コンテンツを再生するためのアプリケーションです。
※ パソコン用に作られた Flash コンテンツの中には完全に再生できないものもあります。

ご使用にあたり： **“メモリースティック”または CF メモリーカードが必要です**

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**

  ギガ　ポケット　プラグイン
  Giga Pocket Plugin PC用

- **キーワード：**Movie Player 形式

- **概要**

  パソコンで録画した動画をクリエで見ることができる形式に変換して、“メモリースティック”に保存します。
  ※ VAIO 用の Giga Pocket ソフトウェアがインストールされたパソコンが必要です。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です

- **インストール CD-ROM のメニュー：**［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「Giga Pocket Plugin」のヘルプをご覧ください。

音声・音楽

クリエで音楽を聞く

- **使用するアプリケーション**

  オーディオ　プレーヤー
  Audio Player クリエ用

- **キーワード：**MP3、ATRAC3

- **概要**

  “メモリースティック”に記録した音楽ファイルを再生するためのアプリケーションです。

- **ご使用にあたり：** パソコンとの連携が必要です　“メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

音声メモをとる

- **使用するアプリケーション**

  ボイス　レコーダー
  Voice Recorder クリエ用

- **概要**

  本機の内蔵マイクを使って音声を録音したり、再生するためのアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

好みの音を鳴らす

使用するアプリケーション

サウンド　ユーティリティー
Sound Utility クリエ用

概要

「Sound Converter 2」で変換した音声データを、パソコンから HotSync でクリエに転送して、アラーム音として管理するためのアプリケーションです。

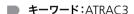
ご使用にあたり： **パソコンとの連携が必要です**

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエに音楽ファイルを送る

使用するアプリケーション

ソニックステージ
SonicStage PC用

キーワード：ATRAC3

概要

クリエで聞く音楽ファイルをパソコンで管理／作成します。
“メモリースティック”に音楽ファイルを転送するときにも使用します。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー：［音楽を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および「SonicStage」のヘルプをご覧ください。

クリエに音声データを送る

使用するアプリケーション

サウンド　コンバーター
Sound Converter 2 PC用

キーワード：WAVE（PCM）形式、
MIDI（Standard MIDI File Format 0/1）形式

概要

パソコンにある WAVE 形式または MIDI 形式の音声データをクリエ用に変換するソフトウェアです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

インターネット

ホームページを見る

使用するアプリケーション

ネットフロント　フォー　クリエ
NetFront v3.0 for CLIE クリエ用

キーワード：ホームページ、インターネット、WWW ブラウザ

概要

クリエ用のホームページ閲覧アプリケーションです。

ご使用にあたり： 通信機器が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

メールをやり取りする

使用するアプリケーション

クリエ　メール
CLIE Mail クリエ用

概要

クリエ用の電子メールアプリケーションです。

ご使用にあたり： 通信機器が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

電子手帳

住所や電話番号を管理する

使用するアプリケーション

アドレス **クリエ用**

概要

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理できます。

詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

日程や予定を管理する

使用するアプリケーション

予定表 **クリエ用**

概要

会議や出張など、さまざまな予定を効率よく管理できます。

詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

処理する仕事や用事を管理する

使用するアプリケーション

To Do（トゥー ドゥー） **クリエ用**

概要

しなければならない仕事や忘れると困る用事を一覧で表示したり、買い物リストなどとして使うことのできるアプリケーションです。仕事や用事に優先度をつけて表示することもできます。

詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

メモをとる

使用するアプリケーション

メモ帳 **クリエ用**

概要

簡単なメモをとったり、パソコンで作成した文書ファイルをクリエで表示したりできます。

詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

手書きメモをとる

使用するアプリケーション

CLIE（クリエ） Memo（メモ） クリエ用

概要

クリエで手書きメモをとるためのアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

計算機として使う

使用するアプリケーション

電卓 クリエ用

概要

基本的な計算ができます。また数値を電卓メモリに保存したり、電卓メモリから呼び出したりできます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

便利ツール

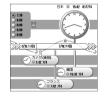
世界時計を表示する

使用するアプリケーション

World（ワールド） Alarm（アラーム） Clock（クロック） クリエ用

概要

世界の時刻を表示します。アラーム時計としても使うことができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンで作成した文書を閲覧する

使用するアプリケーション

Picsel（ピクセル） Viewer（ビューワー） for（フォー） CLIE（クリエ） クリエ用

キーワード：doc 形式、xls 形式、ppt 形式、txt 形式、JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式、BMP 形式、PDF 形式、HTML 形式

概要

Microsoft Word、Excel、PowerPoint、PDF などパソコンで作成した文書を、クリエで閲覧するアプリケーションです。

ご使用にあたり：

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

リモコンとして使う

使用するアプリケーション

CLIE（クリエ） Remote（リモート） Commander（コマンダー） クリエ用

キーワード：赤外線通信

概要

クリエをリモコンとして使うためのアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで電子書籍を閲覧する

使用するアプリケーション

PooK（プーク） クリエ用

キーワード：dotBook 形式、PooDOC 形式、Doc 形式、テキスト形式

概要

PooDOC 形式の他、一般的な Doc やテキスト形式にも対応している電子書籍閲覧用のアプリケーションです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

テレビの番組表を見る

■ **使用するアプリケーション**

TVscape（ティービースケープ） **クリエ用**

■ **概要**

テレビ番組表をクリエで見るためのアプリケーションです。
番組情報サイト「テレビ王国」
（http://www.so-net.ne.jp/tv/）で提供される番組表や内容紹介をクリエで見ることができます。

■ **ご使用にあたり：** **インストールが必要です** **パソコンとの連携が必要です**

■ **インストール CD-ROM のメニュー：**［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

地図を持ち出す

■ **使用するアプリケーション**

Navin' You Pocket（ナビン ユー ポケット） **クリエ用**

■ **キーワード：** 地図、ポイントデータ、GPS

■ **概要**

パソコンで切り出した「Navin' You 専用マップ」地図ディスクのデータをクリエで見るためのアプリケーションです。
地図データは付属の MapCutter Ver.2.1 を使ってパソコンで切り出し、“メモリースティック”経由でクリエに転送します。

ご注意

メモリースティック GPS モジュールをお使いの際には GPS モジュール付属の CD-ROM ではなく、本機に付属するインストール CD-ROM から Navin' You Pocket Ver.2.2 および MapCutter Ver.2.1 をインストールしてご使用ください。

■ **ご使用にあたり：** **インストールが必要です** **パソコンとの連携が必要です**
“メモリースティック”が必要です（64MB 以上推奨）

■ **インストール CD-ROM のメニュー：**［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンで地図を切り出してクリエに送る

使用するアプリケーション

MapCutter（マップカッター） **PC用**

キーワード：地図、ポイントデータ

概要

クリエの Navin' You Pocket で使用する地図データを"メモリースティック"に切り出します。

> **ご注意**
>
> 本機に付属する地図データはサンプル版です。
> お使いになる際は、ゼンリン社製「Navin' You 専用マップ」
> （ゼンリン社 URL：http://www.zenrin.co.jp/）をお買い上げください。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

"メモリースティック"が必要です（64MB 以上推奨）

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

データ管理

"メモリースティック"にバックアップをとる

使用するアプリケーション

Memory Stick Backup（メモリー スティック バックアップ） **クリエ用**

概要

アプリケーションやデータをまとめて"メモリースティック"にバックアップできます。

ご使用にあたり：

"メモリースティック"が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエと記録メディアとの間でデータをやり取りする

使用するアプリケーション

クリエ　ファイルズ
CLIE Files クリエ用

概要

クリエに入れた“メモリースティック”や CF メモリーカードなどの記録メディアとクリエ本体の間でデータのやり取り（コピー、移動、削除）をしたり、記録メディア内でデータをやり取りするためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： **“メモリースティック”または CF メモリーカードが必要です**

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンからクリエの“メモリースティック”や CF メモリーカードを利用する

使用するアプリケーション

データ　インポート
Data Import クリエ用

データ　エクスポート
Data Export PC用

概要

クリエに入れた“メモリースティック”または CF メモリーカードに、パソコンから HotSync を使わずにアプリケーションをインストールしたり、データをコピーすることができます。

ご使用にあたり： **“メモリースティック”または CF メモリーカードが必要です**

Data Export：**インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー：［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Microsoft® Outlook とデータをやり取りする

使用するアプリケーション

Intellisync Lite for Sony CLIE（インテリシンク ライト フォー ソニー クリエ） PC用

概要

Microsoft Outlook のデータを、クリエの「予定表」や「アドレス」、「To Do」などと連携するためのソフトウェアです。

ご使用にあたり： インストールが必要です　パソコンとの連携が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および「Intellisync Lite for Sony CLIE」のヘルプをご覧ください。

辞書・学習

辞書を引く

使用するアプリケーション

辞書 クリエ用

概要

辞書データを利用して、単語の意味や英単語などを調べることができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

設定

CF 通信カードでインターネットに接続する

使用するアプリケーション

CF Utility（シーエフ ユーティリティ） クリエ用

概要

本機の CF カードスロットに挿入した CF 通信カード（別売り）の状態を表示します。
DDI ポケットの CF 通信カードをお使いの場合は、DDI ポケット専用プロバイダの PRIN を使ってメールの自動受信の設定ができます。
Docomo の CF 通信カードをお使いの場合は、ホームアンテナ設定ができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

その他の情報

本機を使っていてわからなかったり、トラブルが発生したときの対処の方法を説明しています。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

予期しないトラブルが起きたときのために、こまめにデータの複製を取っておくこと（バックアップ）をおすすめします。万一、クリエを初期状態に戻す必要のあるトラブルが起きたときでも、常にバックアップをしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

「Memory Stick Backup」によるバックアップ

付属の「Memory Stick Backup」を使って“メモリースティック”へバックアップすることができます。クリエと“メモリースティック”だけで簡単にバックアップできる便利な方法です。

➡ **“メモリースティック”（別売）が必要です。**

詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」をご覧ください。

HotSyncによるバックアップ

HotSyncを行うたびに、クリエ本体のデータやアプリケーションはパソコンにバックアップされます。
ハードリセットなどによってクリエ本体内のデータやアプリケーションが失われても、HotSyncすることでバックアップしたデータが復帰します。

ご注意

あとからインストールされたアプリケーションや、インストール後にアプリケーションが生成したデータの一部は、バックアップできない場合があります。特に、赤外線通信および“メモリースティック”によってインストールしたアプリケーションやデータは、HotSyncではバックアップできません。「Memory Stick Backup」をお使いください。

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順 1 別冊「困ったときは Q&A」や各アプリケーションのマニュアルで調べる

- 別冊の「困ったときは Q&A」をよくお読みください。
- この冊子やパソコンのデスクトップにある[クリエ マニュアル PEG-NX80V_PEG-NX73V]アイコンをダブルクリックしてアプリケーションの情報を確認してください。

手順 2 ホームページの「カスタマーサポート」で調べる

ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ(http://www.nccl.sony.co.jp/)では、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報のほか、最新プログラムのダウンロード提供や、周辺機器との接続情報などを掲載しています。パソコンのデスクトップにある[クリエ 困ったときは PEG-NX80V_PEG-NX73V]アイコンをダブルクリックしてください。

手順 3 それでもトラブルが解決しないときは

次ページをご覧の上、それぞれのお問い合わせ先またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS 用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーションについて動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

お問い合わせ先

PooK に関して:

http://www.architump.com/

サポート情報(メールでお問い合わせください)

support@architump.com

Intellisync Lite for Sony CLIE に関して:

http://www.pumatech.co.jp/clie/

ATOK に関して:

http://support.justsystem.co.jp/

クリエ本体と上記以外のアプリケーションに関して:
ネットコミュニケーションカスタマーリンク

電話番号　(0466)30-3080

受付時間

平日　10 時～ 18 時(年末年始は除く)

土、日、祝日は受け付けしておりません

* 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
  発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

次のページにつづく

お電話の前に以下の内容をご用意ください

①「お客様サポート番号」(16 桁)もしくは「カスタマーID」(13 桁)
お買い上げ後、オンラインもしくは下記ソニーカスタマー専用デスクにてカスタマー登録してください。
●ソニーカスタマー専用デスク
電話番号 (0466)38-1410
② 本機の型名:本機背面または、保証書に記載されています
③ カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
④ 本機に接続している周辺機器名:メーカー名と型名
⑤ 表示されたエラーメッセージ
⑥ トラブルが発生する前または直前に行った操作
⑦ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
⑧ その他お気づきの点

修理の場合は

⑨ 筆記用具:修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

ネットコミュニケーションカスタマーリンクをご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号」(16 桁)、「カスタマーID」(13 桁)のいずれかが必要になります。

お買い上げ後、カスタマー登録されることをおすすめいたします。
カスタマー登録は、オンラインによるご登録、もしくはソニーカスタマー専用デスクにお問い合わせください。

➡ **詳しくは、この冊子の裏表紙をご覧ください。**

使用上のご注意

取り扱いについて

本機の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- 本機の画面に傷をつけないようにしてください。画面をタップするときは、付属のスタイラスを使用してください。
  故障の原因となりますので、通常のペンや鉛筆、その他の突起物は絶対に使用しないでください。
- 本機を雨または湿気にさらさないでください。ボタンやスイッチの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因になります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。また、本機をズボンのポケットに入れないでください。
  画面のガラスが割れることがあります。
- 本機を以下のような場所に放置しないでください。故障の原因となります。
  ー極端な高温または低温の場所
  　特に、炎天下で自動車のダッシュボードの上や、ヒーターなどの暖房機器の近くでの放置にはご注意ください。
  ー極端にほこりが多い場所
  ー湿度が高い場所やぬれた場所
- クレードル底部のゴム足は、汚れにより密着性能が低下することがあります。密着性能が低下した場合は、水拭きをすると回復します。

本機のお手入れ

- 本機のお手入れの際は、乾いた布を使用して軽く拭き取ってください。
- カメラのレンズにごみや指紋などがついたときは、柔らかい綿棒などで取り除いてください。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約 1 時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま影響すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

スタイラスのお手入れ

汚れたスタイラスで画面をタップしたりドラッグしたりすると、表面を傷つける原因となります。
スタイラスが汚れたら、乾いた布を使用して軽く拭き取ってください。

バッテリ充電についてのご注意

バッテリの充電時間について

- バッテリが完全に空のときは、充電に約 4 時間かかります。
- 本機を毎日充電している場合は、1 回の充電にかかる時間を短くすることができます。
- 充電を行っている間も、本機に入力した情報を見たりすることができます。
- 本機のメモリはバッテリによって保持されています。充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。こまめな充電をおすすめします。

フル充電したときの使用時間のめやす

使用時間はご利用環境、ご利用条件および利用するアプリケーションによって異なります。

➡**詳しくは、**97 ページからの「主な仕様」をご覧ください。

バッテリを節約するには

- 明るい場所では、バックライト機能を使用しないようにします。
  ➡**バックライト機能の入／切について詳しくは、**「POWER/HOLD スイッチについて」（105 ページ）をご覧ください。
- 一定の時間放置すると自動的に電源が切れる［自動オフまでの時間］の設定時間を短くします。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。

周辺機器ご使用時のご注意

周辺機器を使用中に「充電池の電力低下」の警告が表示された場合は、すみやかにご使用を中止してクリエを充電してください。そのまま使用し続けると、クリエ本体内のデータが失われる場合があります。

バッテリ残量が少なくなると

- バッテリの残量が少なくなると、画面に下のような警告メッセージが表示され、“メモリースティック”の操作や液晶画面の輝度調整ができなくなります。

  HotSync を実行して本機内のデータをパソコンにバックアップしてください。同時に本機を充電することによって、誤ってデータが消去されることを防止できます。
- POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドしても電源が入らないときには、すぐに充電を開始してください。
- 充電量とバッテリ残量表示は必ずしも一致しません。余裕を持って充電するようにしてください。
- バッテリは交換する必要はありません。バッテリ残量が 0 になった場合は、すみやかにクレードル上で充電を開始してください。絶対に本機を分解してバッテリを取り出したりしないでください。

バッテリを廃棄するときは

本機で使用している電池は、リサイクルができるリチウムイオン充電池です。本体を廃棄する場合は、地方自治体の条例に定められた方法に従って処理していただくとともに、電池のリサイクル処理をお願いいたします。

➡**詳しくは**、別冊「安全のために」をご覧ください。

バッテリ残量が 0 のまま放置しないでください

バッテリ残量が 0 の状態(液晶画面のバッテリ残量表示が の状態)が続くと、本機内のデータが消去されます。本機はこまめに充電してお使いになることをおすすめします。

次のページにつづく

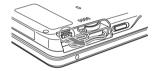
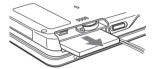
本体を破棄する場合は、下記の手順に従って充電池を取りはずしてください。
電池の交換はネットコミュニケーションカスタマーリンクへお申し出ください。
電池交換の場合は、電池を取りはずしておく必要はありません。

充電池の取りはずしかた

1 プラス（＋）ドライバーで、本機の後面にあるネジをはずす。

2 電池カバーのふたを取りはずす。

3 充電池から出ているコードの先にあるジャックを本機から抜き取る。

4 充電池に付いているコードを引っぱりながら、充電池を取り出す。

取りはずした充電池は、傷つけたりしないよう大切にお取り扱いください。

その他

長時間電源を入れたままにしておくと、本体があたたかくなりますが故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 3 か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は 1 年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この冊子をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)へご連絡ください

ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)については、添付の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではクリエの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、記録媒体のプログラムおよびデータは、HotSync などでお客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、本体および“メモリースティック”内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社ではクリエの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名および製造番号は、本体背面または保証書に記載されています。

- **型名：**PEG-NX80V/NX73V
- **製造番号：**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**
- **「お客様サポート番号」（16桁）もしくは「カスタマーID」（13桁）**

主な仕様

本体

OS

日本語版 Palm OS® 5 (Ver. 5.0)

CPU

PXA263 200MHz

メモリ

PEG-NX80V：32M バイト（RAM）
　ユーザー使用可能領域：約 16M バイト
PEG-NX73V：16M バイト（RAM）
　ユーザー使用可能領域：約 11M バイト

インターフェース

インターフェースコネクタ
赤外線（IrDA（1.2））
リモコン LED
“メモリースティック”スロット
CF カードスロット（コンパクトフラッシュカード Type II）

ディスプレイ

バックライト搭載半透過型 TFT カラー液晶ディスプレイ、320 × 480 ドット、65,536 色表示

その他の機能

FM 音源、16 和音
IMA ADPCM（モノラル）
モノラルスピーカー
モノラルマイクロフォン

外形寸法（最大突起含まず）

約 71.9 × 131.5 × 21.8mm

質量

PEG-NX80V：本体 約 235g
PEG-NX73V：本体 約 230g
（付属スタイラス含む）

推奨動作温度

5℃ ～ 35℃

オーディオ再生周波数特性

20 Hz ～ 20,000 Hz

再生信号圧縮方式

ATRAC3 方式、
MP3 方式（32 k ～ 320 kbps）

再生サンプリング周波数

44.1 kHz

出力端子

ヘッドホン・ステレオミニジャック

音声録音／再生フォーマット

IMA ADPCM（1ch、4 bit）
SP モード（22kHz）
LP モード（8kHz）

最大録音時間

ATRAC3 方式：
　128M バイトの“マジックゲートメモリースティック”使用時
　約 120 分（ビットレート 132 kbps）
　約 160 分（ビットレート 105 kbps）
　約 240 分（ビットレート 66 kbps）
MP3 方式：
　128M バイトの“メモリースティック”使用時
　約 65 分（ビットレート 256 kbps）
　約 130 分（ビットレート 128 kbps）
　約 170 分（ビットレート 96 kbps）

次のページにつづく

最大音声録音時間

128Mバイトの“メモリースティック”使用時

SPモード：約190分

LPモード：約520分

電源

付属ACパワーアダプター：

DC5.2V（専用コネクタ）

（付属電源コードはAC100V用）

バッテリ：

内蔵型リチウムイオンポリマー充電池

電池持続時間

PIM動作時：

約14日

（バックライトオフで、1日30分間、「予定表」などPIMアプリケーションを使用した場合）

約7日

（バックライトオン＊で、1日30分間、「予定表」などPIMアプリケーションを使用した場合）

オーディオ連続再生時：

約7時間

（POWER/HOLDスイッチをHOLD状態にして、音楽を再生した場合）

約2.5時間

（HOLD状態を解除にして、バックライトオン＊で音楽を再生した場合）

動画連続記録時：

約2時間

（HOLD状態を解除にして、バックライトオン＊で動画を記録した場合）

動画連続再生時：

約3.5時間

（バックライトオフで、動画を再生した場合）

約2時間

（バックライトオン＊で、動画を再生した場合）

音声連続記録時：

約10.5時間

（POWER/HOLDスイッチをHOLD状態にして、音声を記録した場合）

約3時間

（HOLD状態を解除して、バックライトオン＊で音声を記録した場合）

連続データ通信時：

約2.5時間

（バックライトオン＊で連続通信した場合）

（PEGA-WL110使用時）

※使用温度、使用状態により電池持続時間は異なります。

＊ バックライトオンの場合、画面の明るさは初期設定の状態です。

カメラ仕様

有効画素数

PEG-NX80V: 約 127 万画素

PEG-NX73V: 約 31 万画素

撮像素子

PEG-NX80V:

1/3.6 型 プログレッシブ方式 CCD イメージセンサー(総画素数約 134 万画素)

PEG-NX73V:

1/5.5 型 CMOS イメージセンサー(総画素数約 37 万画素)

レンズ

PEG-NX80V:

F4.0/ 焦点距離 f=4.15mm(35mm フィルム換算 f= 約 37.7mm)

PEG-NX73V:

F2.8/ 焦点距離 f=2.6mm(35mm フィルム換算 f= 約 34.3mm)

合焦範囲

PEG-NX80V: 0.5 m ～∞

PEG-NX73V: 0.3 m ～∞

キャプチャーライト推奨距離(PEG-NX80V のみ)

0.5m

レンズ回転

約 300 度

カメラファインダー

本体のディスプレイ上で

静止画:320 × 240、160 × 240 ドット

動画:320 × 224 ドット

その他

ホワイトバランス:

オート、屋内(白熱灯)、屋内(蛍光灯)、屋外

エフェクト:

なし/モノトーン/セピア/ネガ/ソラリ

明るさ調整:

-2 ～ + 2

セルフタイマー:

約 10 秒(静止画撮影時のみ)

画像サイズ(撮影時)

静止画: 1280 × 960(PEG-NX80V のみ)、
640 × 480、320 × 480(縦)、
320 × 240 、160 × 120 ドット
(PEG-NX73V のみ)

動画: 160 × 112 ドット

フォーマット(撮影時)

静止画: JPEG(DCF)形式

動画: Movie Player 形式(MPEG4 準拠)

画像サイズ(再生時)

本体のディスプレイ上で

静止画: 320 × 480、320 × 240、
160 × 120 ドット

動画: 426 × 320、320 × 240、
160 × 112 ドット

フォーマット(再生時)

静止画:JPEG(DCF)形式

動画: Movie Player 形式
(MPEG4 準拠)、
MPEG Movie 形式
(MPEG ムービーVX は除く)

次のページにつづく

最大録画時間（動画撮影時）

128Mバイトの“メモリースティック”使用時（ただし、1回の連続撮影は最大約60分まで）
V:192/A:32kbps：約70分
V:96/A:32kbps：約120分

最大記録枚数（静止画撮影時）

128Mバイトの“メモリースティック”使用時
1280×960ドット：約350枚（PEG-NX80Vのみ）
640×480ドット：約1,000枚
320×480ドット：約1,500枚
320×240ドット：約2,000枚
160×120ドット：約6,000枚（PEG-NX73Vのみ）

動作確認済みカード

最新の動作確認済みカードについては、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

パソコンに必要なシステム構成

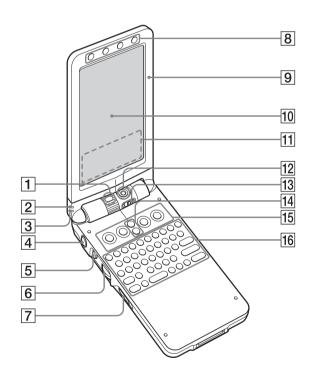
CLIE Palm Desktopソフトウェアおよび、付属のインストールCD-ROMに収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- OS：Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
- CPU：Pentium Ⅱ 400MHz以上（Pentium Ⅲ 500MHz以上推奨）
- RAM：96MB以上（128MB以上推奨、ただしWindows XPの場合は256MB以上推奨）
- ハードディスクドライブ：200MB(350MB以上推奨)*
  - * PictureGear Studioでの印刷時には100MB以上の領域が必要です。
- ディスプレイ：High Color以上、800×600ドット以上を推奨
- CD-ROMドライブ
- USBポート
- マウスかトラックパッドなどのポインティングデバイス

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

各部のなまえとはたらき

本体や主な付属品の各部のなまえとはたらきを説明しています。

前面

[1] キャプチャーライト（PEG-NX80V のみ）

静止画および動画の撮影時のどちらにも発光させることができます。

[2] POWER LED

（7 ページ）

電源を入れると点灯／点滅します。
点灯／点滅する色で、本機の状態を知らせます。

緑色で点灯：
電源が入っています。
（HOLD 状態でも点灯します）

緑色で点滅：
HOLD 状態でアプリケーションボタンなどの操作を行うと点滅します。

オレンジ色で点灯：
充電中です。

オレンジ色で点滅：
「予定表」などでアラーム機能を使っているときに、アラーム時刻になったことをお知らせします。

消灯：
電源が切れています。

[3] REC LED

（57 ページ）

音声メモを録音中に点灯します。

[4] CAPTURE ボタン

（48、53 ページ）

静止画や動画の撮影を開始します。

[5] BACK ボタン

項目を選択解除したり、操作を取り消します。また、アプリケーションによっては、前の画面に戻るなどの独自の機能が割り当てられています。

[6] ジョグダイヤル

（26 ページ）

アプリケーションや項目を選択／実行します。また、アプリケーションによっては独自の機能が割り当てられています。

[7] POWER/HOLD スイッチ

（11、105 ページ）

電源の入／切を切り換えたり、本機を HOLD 状態にすることができます。

[8] アプリケーションボタン（ディスプレイパネル上）

（28 ページ）

ターンスタイル時のみ有効です。

[9] ディスプレイパネル

（9 ページ）

[10] 画面

（112 ページ）

[11] シルクスクリーン領域

（113 ページ）

[12] カメラ

（48、53 ページ）

[13] ND FILTER スイッチ

（49、54 ページ）

[14] スクロールボタン

画面上に一度に表示しきれない情報を見るときに押します。
下に押すと画面の下に隠れている情報が表示され、上に押すと画面の上に隠れている情報が表示されます。また、アプリケーションによって独自の機能が割り当てられています。

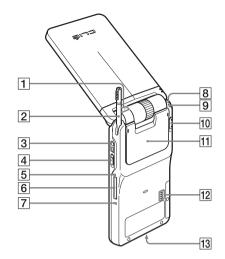
[15] アプリケーションボタン

（28 ページ）

電源を入れていなくても、アプリケーションボタンを押すと、それぞれのアプリケーションが起動します。

[16] ハードウェアキーボード

（109 ページ）

後面

1 **内蔵マイク**
（57 ページ）
音声メモを録音します。

2 **スタイラス**
（11 ページ）
画面を直接さわって操作するためのペンです。

3 **ヘッドホンジャック**
付属のオーディオリモコンとヘッドホンを接続します。

4 **VOICE REC スイッチ**
（57 ページ）
音声メモの録音を開始／停止します。

5 **“メモリースティック”ランプ**
（106 ページ）
“メモリースティック”に読み書きしているときに、オレンジ色に点滅します。

6 **“メモリースティック”スロット**
（106 ページ）
“メモリースティック”を入れます。

7 **RESET ボタン**
（32、33 ページ）
本機を再起動するときに押します。

8 **赤外線通信ポート**
（108 ページ）
赤外線で他のクリエや Palm OS 搭載機器とデータをやり取りできます。

9 **ハンドストラップホルダー**

10 **CF カードスロットスイッチ**
（107 ページ）
CF カードスロットを開きます。

11 **CF カードスロット**
（107 ページ）
コンパクトフラッシュ型のデータ通信カードやメモリーカードを入れます。
CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中であることを示すランプはありません。

12 **スピーカー**

13 **インターフェースコネクタ**
（8 ページ）
クレードルや別売りのモバイルコミュニケーションアダプターなどを接続します。

POWER/HOLD スイッチについて

電源を入／切するには

POWER/HOLD スイッチ

POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる
（指を離すと、中央の位置に戻ります）
電源が入り、前回電源を切るときに表示されていた画面が表示されます。電源が入っているときは、POWER LED が緑色で点灯します。
電源を切るときも、POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせます。

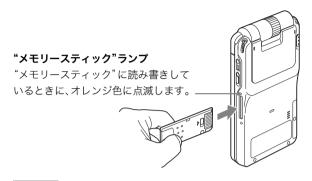
液晶画面のバックライトを入／切するには

POWER/HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドさせます。

HOLD 状態を入／切するには

POWER/HOLD スイッチを HOLD 方向にスライドさせる
誤ってボタンが押されたり、画面がタップされることを防ぎます。HOLD 状態にすると、本機が動作中でも画面が消えます。
POWER/HOLD スイッチを中央の位置に戻すと、HOLD 状態が解除されます。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

“メモリースティック”を入れる

ご注意

“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、スロットが破損するおそれがあります。

“メモリースティック”を取り出す

“メモリースティック”を押し込む

“メモリースティック”を引き抜く

ご注意

“メモリースティック”へのファイル／データの書き込みや読み出しを行っていないこと（“メモリースティック”ランプが点滅していないこと）を確認してから“メモリースティック”を押し込んでください。“メモリースティック”ランプが点滅中に“メモリースティック”を取り出した場合、記録されたファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。

CF カードを入れる／取り出す

本機で使える CF カードについて

- 本機の CF カードスロットは、コンパクトフラッシュ型カード専用です。その他の通信カードやメモリーカードのご使用は故障の原因となりますのでおやめください。
  特に CF カードスロットの内部に入る部分が特殊な形状の CF カードを挿入すると、CF カードスロットの故障の主な原因になりますのでおやめください。
- 本体の動作が不安定になった場合は、電源を切ってから CF カードを取りはずし、再度 CF カードを入れてください。

CF 通信カードの対応について

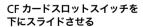
- お使いの CF 通信カードおよびプロバイダによっては、ご利用になれないデータ通信サービスがありますのでご注意ください。詳しくはお使いの CF 通信カードの取扱説明書をご覧になるか、プロバイダへお問い合わせください。
  ➡**対応している CF 通信カードについて詳しくは、**ネットトコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

CF メモリーカードの対応について

➡**対応している CF メモリーカードについて詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

➡**CF メモリーカードに対応している付属のアプリケーションについて詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

CF カードを入れる

CF カードスロットスイッチを下にスライドさせる

CF カードを入れる

ご注意

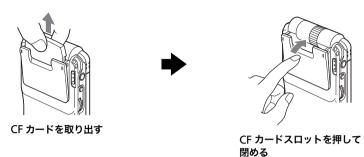
CF カードを入れるときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および CF カードが故障するおそれがあります。

次のページにつづく

CF カードを取り出す

必ず本機の電源を切ってから、CF カードを取り出してください。
CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中であることを示すランプはありません。

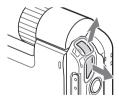
CF カードを取り出す

CF カードスロットを押して閉める

ご注意

- CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中に、CF カードを取り出した場合、記録されたファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。また、本機および CF カードが故障するおそれがあります。
  CF カードを取り出すときは、クリエの電源を切ってから取り出してください。
- CF カードを取り出すときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および CF カードが故障するおそれがあります。

赤外線通信ポート

赤外線で他のクリエや Palm OS 搭載機器とデータやアプリケーションをやり取りできます。

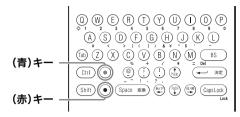
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「赤外線通信機能を使う」をご覧ください。

リモコンとして使う場合は, この方向に向けてください。
※最適な通信位置は、少しずつ向きを変えてお試しください。

赤外線通信機能を使う場合は、
この方向に向けてください。

ヒント

「CLIE Remote Commander」により、クリエをリモコンとして使うこともできます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ハードウェアキーボード

パソコンのキーボードと同様の操作で文字を入力します。大量の文字を入力するときに便利です。

入力コマンド一覧

下記のキーを組み合わせることでハードウェアキーボードの機能を拡張できます。

キー操作の表記

例：Ctrl ＋ C → Ctrl キーを押しながら C を押す。

基本操作

操作	機能
⦿（青）＋ 青文字キー	青い表示の数字や記号を入力します。
⦿（赤）＋ 赤文字キー	赤い表示の機能を実行します（「変換」などを含む）。
Caps Lock	英字入力モードのときに、大文字を連続して入力できます。もう 1 度押すと、解除できます。
⦿（青）＋ Caps Lock	Lock（青文字）状態に固定され、青い表示の数字や記号を連続して入力できます。もう一度押すと、解除できます。

編集

操作	機能
Ctrl ＋ C	選択した文字列をコピーします。
Ctrl ＋ D	選択した文字列を消去します。
Ctrl ＋ V	選択した文字列を貼り付けます。
Ctrl ＋ X	選択した文字列を切り取ります。
Ctrl ＋ ←／→	カーソルの位置から文頭／文末まで選択します。
Shift ＋ ←／→	カーソルの位置の前後の文字列を選択します。

次のページにつづく

機能

操作	機能
Ctrl + G	シルクスクリーン領域の表示／非表示を切り換えます。
Ctrl + H	ホーム画面に戻ります。
Ctrl + L	バックライトを On/Off します。
Ctrl + M	メニューを表示します。
Ctrl + O	前のフィールドへ移動します。
Ctrl + P	次のフィールドへ移動します。
Ctrl + R	Graffiti のヘルプ画面 * が表示されます。 他の機能に変更することもできます。 （[環境設定]画面右上の▼をタップして[ボタン]を選び、[スタイラス]をタップする）

* デクマ手書き入力（Decuma Japanese）が選択されている場合は、デクマ手書き入力のヘルプ画面が表示されます。

ダイアログ表示

操作	機能
Ctrl + A	「ボリューム調整」画面が表示されます。
Ctrl + B	「バッテリ情報」画面が表示されます。
Ctrl + E	「メディア情報」画面が表示されます。
Ctrl + F	「検索」画面が表示されます。
Ctrl + K	キーボードのヘルプ画面が表示されます。
Ctrl + T	コマンドツールバーが表示されます。
⦿（赤）+ Q	「明るさの調整」画面が表示されます。

ボタン操作

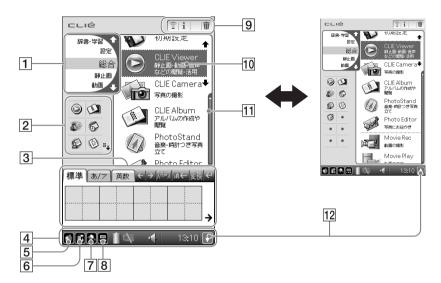
操作	機能
Ctrl + ↑／↓	ジョグダイヤルを上／下方向に回すのと同じ操作です。
Ctrl + 決定	ジョグダイヤルを押すのと同じ操作です。
Ctrl + 決定（長押し）	ジョグダイヤルを長押しするのと同じ操作です。
Ctrl + BS	BACK ボタンを押すのと同じ操作です。
Ctrl + BS（長押し）	BACK ボタンを長押しするのと同じ操作です。

応用操作

操作	機能
（Caps Lock 状態にしたあと） Shift + 文字キー	Shift キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Caps Lock 状態が解除されます。
（Lock（青文字）状態にしたあと） ◉（青）+ 文字キー	（青）キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Lock 状態が解除され、通常の文字が入力できます。
（Lock（青文字）状態にしたあと） Shift + 文字キー	Shift キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Lock 状態が解除され、Shift 入力ができます。

画面の見かた

ヒント

違う画面が表示されているときは「5 ホームアイコン」をタップしてください。

1 **CLIE Launcher グループ一覧**
CLIE Launcher グループの一覧が表示されます。

2 **よく使うアプリケーション（ショートカット）**
よく使うアプリケーションを登録できます。

3 **シルクスクリーン領域**
（113 ページ）

4 **ステータスバー**
（113 ページ）

5 **ホームアイコン**
タップすると、ホーム（アプリケーション一覧）画面が表示されます。

6 **メニューアイコン**
タップすると、現在のアプリケーションのメニューが表示されます。

7 **検索アイコン**
タップすると「検索」画面が表示されます。

8 **シルクプラグイン切り換えアイコン**
（113 ページ）

9 **編集操作アイコン**
（115 ページ）

10 **アプリケーションアイコン**
（26 ページ）

11 **ポジションインジケーター**

12 **リサイズアイコン**
画面を切り換えます。

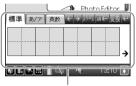
ステータスバー

以下のアイコンが常に表示されます。その他に、アプリケーションに応じて独自の機能のアイコンが表示されます。

タップするとホーム画面を表示します。

タップするとメニューを表示します。

タップすると「検索」画面を表示します。

タップすると「シルク プラグイン」画面を表示します。
シルク プラグインを切り換えることにより、シルクスクリーン領域の表示と機能を変更することができます。
お買い上げ時は、「デクマ手書き入力（Decuma Japanese）」と「標準入力（Graffiti およびソフトウェアキーボード）」がインストールされています。

デクマ手書き入力
（Decuma Japanese）

標準入力（Graffiti 入力画面）

ヒント

- ステータスバーを左から右にドラッグして、シルクプラグインを切り換えることもできます。
- 「シルク プラグイン」画面を表示すると、画面右上に ⓘ アイコンが表示されます。タップすると「シルクプラグイン ヘルプ」画面が表示されます。

バッテリ残量を表示します。充電中は アイコンが表示されます。
タップすると「バッテリ情報」画面が表示されます。

駆動電源：使用している電源
状態：バッテリの状態
残量：バッテリのおよその残量
（充電中は --- と表示されます）

［機能制限］ボタンをタップすると、「バッテリ残量による機能制限」画面が表示されます。

次のページにつづく

本機に挿入している“メモリースティック”や CF カードのタイプや状態を表示します。

：“メモリースティック”が入っています

：“メモリースティック”が入っていません

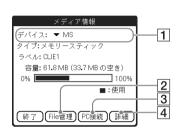
：“メモリースティック”が書き込み禁止になっています

：“メモリースティック”が正常に認識されていません

：GPS モジュールなどの“メモリースティック”型周辺機器が入っています

：CF カードが入っています

：CF カードが正常に認識されていません

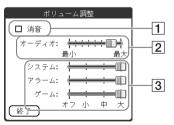
タップすると、「メディア情報」画面が表示されます。

1 デバイスの種類
（▼のリストから他のデバイスを選択することもできます）

2 タップすると「CLIE Files」が起動します。

3 タップすると「Data Import」が起動します。

4 タップすると「デバイスの詳細」画面が表示され、デバイスやドライバの情報を見ることができます。

「メディア情報」画面を表示しているとき、メニュー アイコンをタップして［オプション］メニューの「設定」画面で、“メモリースティック”や CF カードを挿入時のクリエ本体の動作を設定することができます。

タップすると「ボリューム調整」画面を表示します。

1 ［消音］の □ を ☑ にすると、ボリュームの設定にかかわらず消音になります。
消音中はステータスバーに アイコンが表示されます。

2 音声や動画などの再生に反映されます。

3 それぞれ、「環境設定」ー［一般］の［システム音］、［アラーム音］、［ゲーム音］の設定に反映されます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：各種の操作音の設定を変更する」をご覧ください。

13:10	時刻が表示されます。表示の書式は、「環境設定」−[書式]の[時刻]で変更します。 ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):日時/数値などの表示書式を設定する」をご覧ください。
↓	タップするとシルクスクリーン領域の表示/非表示が切り換わります。

編集操作アイコン

アプリケーションに対する操作機能が登録されています。
標準では次の機能が登録されています。

:アプリケーションの送信

:情報の表示

:アプリケーションの削除

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの基本操作:「CLIE Launcher(クリエ ランチャー)」を使いこなす:編集操作アイコン」をご覧ください。

ヒント
アプリケーションをインストールすると、機能が追加されることがあります。

Graffiti ／ソフトウェアキーボード切り換えアイコン（「標準入力」選択時のみ）

タップすると Graffiti 入力エリアとソフトウェアキーボードが切り換わります。
ソフトウェアキーボードの操作方法はスクリーンキーボードと同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションが使えます。

ヒント

ソフトウェアキーボードの表示を切り換えるには

以下のアイコンをタップして、キーボードの表示を切り換えることができます。

abc：アルファベットを表示します。

かな：ひらがなを表示します。

カナ：カタカナを表示します。

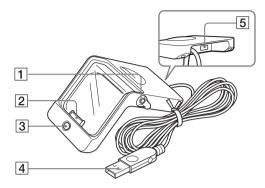
記号：記号を表示します。

コード：コード表を表示します。

ヒント

操作中に下のような画面が表示されたときは

ⓘアイコンをタップするとヒントが表示されます。

クレードル

1 **スタイラスホルダー**
スタイラスを収納します。

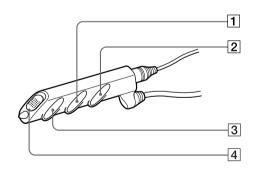
2 **インターフェースコネクタ**
（8 ページ）

3 **HotSync（ホットシンク）ボタン**
（21、23 ページ）

4 **USB コネクタ**
（20 ページ）

5 **AC パワーアダプター接続コネクタ**
（7 ページ）

オーディオリモコン

「Audio Player」や「Movie Player」などで、音楽や音声付き動画を再生するときに使います。

1 **⏮/⏭ ボタン**

2 **音量調節ボタン**

3 **▶/■ ボタン**

4 **HOLD（ホールド）スイッチ**

➡**アプリケーションごとの操作について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

アルファベット順

A

C

D

G

H

I

次のページにつづく

M

N

P

S

T

U

V

W

- Sony、SONY、クリエ、CLIÉ、"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK™、"Memory Stick Duo"("メモリースティック　デュオ")、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO"("メモリースティック PRO")、MEMORY STICK PRO、"MagicGate"("マジックゲート")、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")、、PictureGear Studio はソニー株式会社の商標です。
- Palm、Palm Powered、Palm のロゴ、Palm Powered のロゴ、および PalmOS、Graffiti、HotSync、HotSync のロゴは、Palm Source Inc. の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ATOK 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Decuma は Decuma AB の商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。
- Intellisync は米国 Pumatech, Inc. の米国、およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- QuickTime,QuickTime のロゴは Apple Computer, Inc. の商標です。
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Flash および Macromedia Flash は、Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- NetFront は、株式会社 ACCESS の日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Picsel および Picsel ロゴは Picsel 社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。
付属の「ATOK」をお使いになる前に、必ず別冊「クリエ読本」巻末に記載されている「ATOK 使用許諾契約書」をお読みください。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、
ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから
最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● **http://www.nccl.sony.co.jp/ ➡ 機種ごとのサポート情報へ**

付属の冊子もあわせてご覧ください。
「クリエ サービス・サポートのご案内」
「困ったときは Q&A」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。
● **http://www.sony.jp/CLIE/**

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは
ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ
● **0466-30-3080**

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
ソニーカスタマー専用デスクへ
● **0466-38-1410**

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/